

目 次

会期日程表	1
陳情文書表	2

第 1 号（12月9日）

開会、散会の日時	3
出席議員	3
欠席議員	3
地方自治法第121条の規定により説明のため議場に出席した者の職・氏名	3
事務局出席者	3
議事日程	4
開会及び開議の宣告	5
会議録署名議員の指名	5
会期の決定	5
諸般の報告	5
行政報告	5
村長所信表明	6
同意第3号の上程、説明	7
議案第52号の上程、説明	8
議案第53号の上程、説明	9
議案第54号の上程、説明	10
議案第55号の上程、説明	12
議案第56号の上程、説明	12
議案第57号の上程、説明	13
議案第58号の上程、説明	13
散会の宣告	14

第 2 号（12月12日）

開議、散会の日時	15
出席議員	15
欠席議員	15
地方自治法第121条の規定により説明のため議場に出席した者の職・氏名	15
事務局出席者	15
議事日程	16
開議の宣告	17
一般質問	17
宮 城 貢 議員	17

吉 浜 覚 議員	22
新 崎 悟 一 議員	29
大 山 美佐子 議員	37
宮 城 良 治 議員	39
平 良 嗣 男 議員	43
散会の宣告	48

第 3 号（12月13日）

開議、散会の日時	49
出席議員	49
欠席議員	49
地方自治法第121条の規定により説明のため議場に出席した者の職・氏名	49
事務局出席者	49
議事日程	50
開議の宣告	51
同意第3号の質疑、委員会付託の省略、討論、採決	51
議案第52号の質疑、委員会付託	51
議案第53号の質疑、委員会付託	52
議案第54号の質疑、予算審査特別委員会の設置、委員会付託	52
議案第55号の質疑、予算審査特別委員会の設置、委員会付託	52
議案第56号の質疑、予算審査特別委員会の設置、委員会付託	52
議案第57号の質疑、予算審査特別委員会の設置、委員会付託	53
議案第58号の質疑、予算審査特別委員会の設置、委員会付託	53
諸般の報告	54
散会の宣告	54

第 4 号（12月15日）

開議、閉会の日時	55
出席議員	55
欠席議員	55
地方自治法第121条の規定により説明のため議場に出席した者の職・氏名	55
事務局出席者	55
議事日程	56
開議の宣告	57
議案第52号の上程、委員長報告、質疑、討論、採決	57
議案第53号の上程、委員長報告、質疑、討論、採決	58
議案第54号～議案第58号の一括上程、委員長報告、質疑、討論、採決	60
陳情第17号及び陳情第18号の一括上程、委員長報告、質疑、討論、採決	64

意見案第 2 号の上程、説明、質疑、委員会付託の省略、討論、採決 66

議員派遣の件 67

閉会の宣告 68

署名議員 68

令和 4 年第10回定例会会議録
(会期日程表)

開会 令和 4 年12月 9 日
会期 7 日間
閉会 令和 4 年12月15日

月 日	曜日	会議別	開議時間	日 程
12月 9 日	金	本会議	午前10時	会議録署名議員の指名・会期の決定・陳情の委員会付託・議長諸般の報告・村長行政報告・村長所信表明・議案提案説明
12月10日	土	休 会		
12月11日	日	休 会		
12月12日	月	本会議	午前10時	一般質問
12月13日	火	本会議	午前10時	同意第 3 号質疑、委員会付託省略（即決） 議案第52号質疑、総務常任委員会付託 議案第53号質疑、経済建設常任委員会付託 議案第54号～第58号質疑、予算審査特別委員会付託
		委員会	午後 1 時30分	議案第52号総務常任委員会（説明～採決） 陳情第13号～第18号総務常任委員会（検討～採決）
12月14日	水	委員会	午前10時	議案第53号経済建設常任委員会（説明～採決）
		委員会	午後 1 時30分	議案第54号～第58号予算審査特別委員会 （説明～採決）
12月15日	木	本会議	午前10時	議案第52号総務常任委員会委員長報告、質疑、討論、表決 議案第53号経済建設常任委員会委員長報告、質疑、討論、表決 議案第54号～第58号予算審査特別委員会委員長報告、質疑、討論、表決 陳情第13号～第18号総務常任委員会委員長報告、質疑、討論、表決 意見書等の処理、議員派遣の件（閉会）

会期日数 7 日間 本会議日数 4 日間 委員会日数 2 日間 休会日数 2 日間

陳 情 文 書 表

受理 番号	受理年月日	件 名	陳情者氏名	付託委員会
13	令和4年9月22日	沖縄県知事に国連に基地問題を訴える前に県民に対して「沖縄の人々を先住民族とする国連勧告」の説明の実施を求める意見書の提出を求める陳情	沖縄の人々を先住民族とする国連勧告の撤回を実現させる沖縄地方議員連盟 本部町議会議員 新崎秀昭	総務常任委員会
14	令和4年9月22日	第2尚氏第23代当主尚衛氏のご意向に沿って、沖縄の人々を先住民族とする国連勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情	沖縄の人々を先住民族とする国連勧告の撤回を実現させる沖縄地方議員連盟 本部町議会議員 新崎秀昭	総務常任委員会
15	令和4年9月22日	国民保護の特殊標章について、早急にテレビ、ラジオ等のメディアを活用し、その存在と重要性を啓発することを求める陳情	一般社団法人日本沖縄政策研究フォーラム 理事長 仲村 覚	総務常任委員会
16	令和4年9月22日	台湾・沖縄有事を想定した避難実施パターンを早急に作成することを求める陳情	一般社団法人日本沖縄政策研究フォーラム 理事長 仲村 覚	総務常任委員会
17	令和4年11月24日	インボイス制度（適格請求書等保存方式）の実施延期を求める陳情書	沖縄県商工団体連合会 会長 村濱 興達	総務常任委員会
18	令和4年12月1日	有機フッ素化合物有価フッ素化合物（PFAS）汚染から県民の健康と生命を守る陳情	有機フッ素化合物（PFAS）汚染から市民の生命を守る連絡会 共同代表：伊波義安、桜井国俊、玉那覇淑子、町田直美	総務常任委員会

令和4年第10回大宜味村議会定例会会議録

(第1号) 令和4年12月9日

1. 開会、散会の日時

開 会 (令和4年12月9日 午前10時00分)

散 会 (令和4年12月9日 午前10時40分)

2. 出席議員 (10名)

1 番議員 宮 城 貢

2 番議員 宮 城 良 治

3 番議員 大 城 邦 彦

4 番議員 大 山 美佐子

5 番議員 宮 城 美和子

6 番議員 前 田 孝

7 番議員 新 崎 悟 一

8 番議員 吉 浜 寛

9 番議員 平 良 嗣 男

10 番議員 大 城 佐 一

3. 欠席議員 (0名)

な し

4. 地方自治法第121条の規定により説明のため議場に出席した者の職・氏名は次のとおりである。

村 長 友 寄 景 善 教 育 長 米 須 邦 雄

総 務 課 長 宮 城 豊 教 育 課 長 真喜志 亮

財 務 課 長 佐久川 紀 亮 農 業 委 員 会 事 務 局 長 大 嶺 実

住 民 福 祉 課 長 宮 城 敦 監 査 事 務 局 長 新 城 寛

企 画 観 光 課 長 兼
プロジェクト推進室長 福 地 亮 選 挙 管 理 委 員 会 書 記 長 宮 城 豊

産 業 振 興 課 長 大 嶺 実

建 設 環 境 課 長 花 田 義 徳

会 計 課 長 知 念 和 史

5. 職務のため議場に出席した事務局員の職・氏名は次のとおりである。

事 務 局 長 新 城 寛 主 任 宮 城 宏 幸

6. 議事日程（第1号）

日程番号	事件番号	件 名	摘 要
1		会議録署名議員の指名	
2		会期の決定	
3		議長諸般の報告	
4		村長行政報告	
5		村長所信表明	
6	同 意 第 3 号	副村長の選任について	提 案 説 明
7	議 案 第 5 2 号	沖縄県北部医療組合の設立について	提 案 説 明
8	議 案 第 5 3 号	土地改良事業の施行について	提 案 説 明
9	議 案 第 5 4 号	令和4年度大宜味村一般会計補正予算（第10号）	提 案 説 明
10	議 案 第 5 5 号	令和4年度大宜味村国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	提 案 説 明
11	議 案 第 5 6 号	令和4年度大宜味村簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）	提 案 説 明
12	議 案 第 5 7 号	令和4年度大宜味村公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	提 案 説 明
13	議 案 第 5 8 号	令和4年度大宜味村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	提 案 説 明

◎開会及び開議の宣告

- 議長（大城佐一） 起立、礼。おはようございます。
ただいまから令和4年第10回大宜味村議会定例会を開会します。
本日の会議を開きます。

（午前10時00分）

◎会議録署名議員の指名

- 議長（大城佐一） 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。
本定例会の会議録署名議員は、会議規則第127条の規定によって、7番 新崎悟一議員及び8番 吉浜 寛議員を指名します。
-

◎会期の決定

- 議長（大城佐一） 日程第2 会期の決定を議題にします。
お諮りします。本定例会の会期は、本日から12月15日までの7日間にしたいと思います。
御異議ありませんか。
（「異議なし」と呼ぶ者あり）
○ 議長（大城佐一） 異議なしと認めます。
したがって会期は、本日から12月15日までの7日間に決定しました。
-

◎諸般の報告

- 議長（大城佐一） 日程第3 諸般の報告を行います。
本定例会の会議に出席を求め、説明員として通知のあった者の職・氏名は、お手元に配りました名簿のとおりです。
本定例会までに受理した陳情は、お手元に配りました陳情文書表のとおり総務常任委員会に付託しましたから報告をします。
次に地方自治法第235条の2第3項の規定により、例月出納検査の結果報告書がお手元に配りましたとおり提出されています。
次に地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、教育長から教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告について提出をされています。
次に議長の会議等の報告については、お手元に報告書を配付しています。各自お目通しをお願いします。
これで諸般の報告を終わります。
-

◎行政報告

- 議長（大城佐一） 日程第4 行政報告を行います。
村長から行政報告の申し出がありました。これを許します。村長。
（友寄景善村長 登壇）

○ 村長（友寄景善） 前村長の報告は割愛し、私が就任した10月7日以降をかいつまんで報告申し上げます。

10月7日に村長に就任いたし、全職員を対象に訓示を行いました。

10月13日には、大宜味小学校で人権の花植え付け式を12年ぶりに開催しました。

11月3日には、岡田直樹内閣府特命担当大臣と北部12市町村長との懇談会が名護市内で開かれ、本村の取組を説明いたしました。

11月4日から7日にかけて、福島県西会津町のふるさとまつり、横浜市鶴見での沖縄フェア、そして大阪難波での沖縄物産展に出展し、本村のPRをしてまいりました。

11月10日から11日にかけて、北部12市町村長による岡田直樹大臣へ北部振興事業等の要請活動を内閣府において行いました。

11月28日には、玉城沖縄県知事と照屋副知事に個別に表敬訪問してまいりました。

なお、入札結果報告を添付しておりますので、お目通しください。

○ 議長（大城佐一） これで行政報告を終わります。

◎村長所信表明

○ 議長（大城佐一） 日程第5 村長の所信表明を求めます。村長。

（友寄景善村長 登壇）

○ 村長（友寄景善） 去る9月11日の大宜味村議会議員選挙において、当選されました皆様、誠にありがとうございます。今後4年間、皆様と共に、村民の福祉の向上と村政の発展へ向け、共に取り組んでまいりたいと存じます。

令和4年第10回定例会の開会にあたり、提案しております議案のご説明に先立ち、村政運営に関する私の所信の一端と基本的な方針について申し上げ、議員各位及び村民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

戦争のない平和な社会を築くため、『ぬちどう宝・人権擁護』を肝に銘じ、国と国との戦争や地域紛争等、武力行使には断じて反対し、対話による問題解決、命と人権を尊ぶ平和行政を推進し、多様性を尊重し、違いを乗り越え、すべての人々が理解し協力し合える共存社会を目指します。

村政は何よりも村民のためでなければなりません。隅々に光を当て村民の声を拾い、村民の声が届き、村民と一緒に内々に誇れる輝く大宜味村を目指します。

村民に信頼される透明で公正、公平な村政を進めるため、各種事業を進めるに際しては、目的や根拠を明確にし、村民に説明責任を果たしながら、村民の理解が得られるよう努力してまいります。

安心・安全・豊かさ・暮らしやすさを実感できる村政を進めるため、村立診療所の医療体制の充実強化と台風や津波などの自然災害から生命財産を守り、防災・減災対策を強化して参ります。さらに、「大宜味村に住んでよかった」と、実感できる社会をつくるため、伝統文化を継承しながら、地域コミュニティを強固にし、ユイマールの心で生活弱者や高齢者にも優しい村づくりを進め、生きがいと潤いに満ちた村を目指します。

少子化傾向は我が国の大きな課題の一つで、将来の暮らしに危機感と大きな不安をもたらしています。子供を産み育てやすい環境整備は喫緊の課題です。社会全体、地域ぐるみで子育てを支援しなければなりません。そのためにも、産前産後のケアはもちろん、経済的負担を少しでも軽減してまいります。

子育て支援と人材育成は未来への大きな投資で、将来を担う子供たちは、最も大切に掛け替えのない存在です。一人ひとりの能力を引き出し、夢や希望が実現できるよう、学習環境の整備と教育の充実を図り、その人らしい生き方を支援してまいります。

村内の各集落は、海岸沿い、山間地域、低地、丘陵地等に立地し、独特の自然環境と歴史文化があります。各地域とも地域の特性を活かしながらそれぞれ独自の集落を形成してきました。その地域特性を活かしつつその魅力と可能性を最大限に引き出し、さらに足元を見つめなおし、様々な角度から光を当て、村全体が輝けるよう地域バランスの取れた村政を進めます。

大宜味村は大宜味村らしさをさらに推し進めなければなりません。豊かな自然環境と文化は、特産品や伝統産業を育んできました。村内には農林漁家をはじめ、伝統工芸、製造加工関連事業所など多様な産業の営みがあります。小規模、零細、家族（家庭内）事業所等の、庶民産業・在来産業が多く存在します。足元を見つめなおしたこの産業の育成・振興こそが大宜味村の魅力をさらに高め、村を活性化させる原動力になるものと考えます。

大規模生産・大型化に頼らなくても、大宜味村独自の付加価値の高い商品開発と自然環境や文化を活かした観光・イベントを展開することが大宜味村発展のキープポイントになるものと信じています。村民自らが暮らしに潤いと豊かさを実感できる産業の育成、伝統工芸・文化の継承を進めます。

昨年7月には、奄美大島・徳之島・そして本村を含む沖縄島北部及び西表島が世界自然遺産に登録されました。本村も様々な観点から大きな可能性を秘め、その可能性の実現のため新たな時代へ突入したものと考えます。生物多様性の地域に誇りを持ちつつその保全と活用を推進していかなければなりません。本村の魅力を内外に広く発信し誘客増加を図り活性化を図るため、新たな観光形態の推進や各種イベントを開催してまいります。

私は大宜味村に生まれ、大宜味村に育てられ、大宜味村にずっと暮らし続けているものとして、もっと輝く村、もっと開かれた村の実現のため、村職員として、区長として、村議会議員として、微力ながら取り組んできた思いであります。

去る10月7日に大宜味村長に就任し、全身全霊でその職務に取り組んでまいります。

以上、所信の一端と基本的な考えを申し述べましたが、その実現のため、全職員一丸となり英知を結集して取り組んでまいります。議員各位および村民の皆様のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げ、所信表明といたします。

令和4年12月9日

大宜味村長 友寄景善

○ 議長（大城佐一） これで村長の所信表明を終わります。

◎同意第3号の上程、説明

○ 議長（大城佐一） 日程第6 同意第3号 副村長の選任についてを議題とします。

6番、退場。2番、退場。1番、退場。3番、退場。5番、退場。

（6番 前田 孝議員 午前10時13分退場）

（2番 宮城良治議員 午前10時13分退場）

（1番 宮城 貢議員 午前10時13分退場）

（3番 大城邦彦議員 午前10時13分退場）

(5番 宮城美和子議員 午前10時13分退場)

○ 議長(大城佐一) 本件について提案理由の説明を求めます。村長。

(友寄景善村長 登壇)

○ 村長(友寄景善) 同意第3号 副村長の選任について

大宜味村副村長に次の者を選任したいので、議会の同意を求める。

住 所 大宜味村字大兼久138番地

氏 名 新城 寛

昭和39年5月21日生

令和4年12月9日提出

大宜味村長 友寄景善

提案理由

令和4年10月6日付で前副村長が辞職し不在となっている為、地方自治法(昭和22年法律第67号)第162条の規定により、同意を求める。

履歴書を添付しておりますので、後ほどお目通しをお願いします。

○ 議長(大城佐一) これで提案理由の説明を終わります。

○ 議長(大城佐一) 6番、入場。2番、入場。3番、入場。1番、入場。5番、入場。

(6番 前田 孝議員 午前10時14分入場)

(2番 宮城良治議員 午前10時14分入場)

(3番 大城邦彦議員 午前10時14分入場)

(1番 宮城 貢議員 午前10時14分入場)

(5番 宮城美和子議員 午前10時14分入場)

◎議案第52号の上程、説明

○ 議長(大城佐一) 日程第7 議案第52号 沖縄県北部医療組合の設立についてを議題とします。

本件について提案理由の説明を求めます。村長。

(友寄景善村長 登壇)

○ 村長(友寄景善) 議案第52号 沖縄県北部医療組合の設立について

地方自治法(昭和22年法律第67号)第284条第2項の規定により、令和5年4月1日から、沖縄県、名護市、国頭村、東村、今帰仁村、本部町、恩納村、宜野座村、金武町、伊江村、伊平屋村及び伊是名村と公立沖縄北部医療センター及び公立沖縄北部医療センター附属診療所の建設整備及び管理運営並びに医療従事者の確保に関する事務を共同処理するため、別紙のとおり規約を定め沖縄県北部医療組合を設立するので、議会の議決を求める。

令和4年12月9日提出

大宜味村長 友寄景善

提案理由

沖縄県北部医療組合の設立について、沖縄県、名護市、国頭村、東村、今帰仁村、本部町、恩納村、宜野座村、金武町、伊江村、伊平屋村及び伊是名村と協議をするには、地方自治法第290条の規定により議会の議決が必要なため、この案を提出する。

内容につきまして、担当課長から説明させていただきます。

○ 議長（大城佐一） 住民福祉課長。

（宮城 敦 住民福祉課長 登壇）

○ 住民福祉課長（宮城 敦） それでは議案第52号について、補足説明いたします。

まず、経緯といたしまして、平成29年3月に、北部12市町村の住民による「基幹病院の整備を求める総決起大会」が開催され、専門医療、小児・周産期医療、救命救急医療等を提供できる基幹病院の整備が強く求められてきました。

これを受け、沖縄県、北部12市町村及び北部地区医師会では、県立北部病院と北部地区医師会病院を統合し、新たに公立沖縄北部医療センターを整備することについて、約2年半をかけて協議し、令和2年7月に合意、「北部基幹病院の基本的枠組みに関する合意書」の締結をしたところでございます。

その後、公立沖縄北部医療センター整備協議会を設置し、同整備協議会における検討を経て、令和3年3月に基本構想、令和4年3月に整備基本計画を策定してきたところでございます。

このような経緯のもと、さきに合意した基本合意書、説明資料の9ページになりますが、第2条にもありますとおり、公立沖縄北部医療センターの設置主体として、沖縄県と北部12市町村で構成する一部事務組合「沖縄県北部医療組合」を設立するものとなり、設立にあたりその協議を行うためには、地方自治法第290条の規定により議会の議決を経なければならないため、今回の提案となっております。

次に議案の別紙、規約をご覧ください。

沖縄県北部医療組合の規約の概要につきましては、第1章 総則について第1条から第4条、第2章 組合の議会について第5条から第7条、第3章 組合の執行機関について第8条から第12条、第4章 組合の経費について第13条、第5章 雑則について第14条、あと附則となっております。

沖縄県北部医療組合が共同処理する事務につきましては、提案理由にもありましたとおり、北部医療センターの建設整備及び管理運営に関すること。附属診療所の建設整備及び管理運営に関すること、北部医療センター及び附属診療所における医療従事者の確保に関することとしており、この規約は、令和5年4月1日から施行することとしております。

なお、詳細につきましては、委員会にて説明させていただきますので、ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

○ 議長（大城佐一） これで提案理由の説明を終わります。

◎議案第53号の上程、説明

○ 議長（大城佐一） 日程第8 議案第53号 土地改良事業の施行についてを議題とします。

本件について提案理由の説明を求めます。村長。

（友寄景善 村長 登壇）

○ 村長（友寄景善） 議案第53号 土地改良事業の施行について

土地改良法（昭和24年法律第195号）第96条の2第2項の規定により、下記のとおり土地改良事業を施行したいので、議会の議決を求める。

記

事業名 沖縄振興公共投資交付金（農業基盤整備促進事業）

地区名 大工又地区

事業量 畑地かんがい施設一式

令和4年12月9日提出

大宜味村長 友寄景善

提案理由

土地改良事業の施行に当たり、議会の議決を経て、土地改良事業計画を定める必要があるため、この案を提出する。

内容につきましては、担当課長から説明させていただきます。

○ 議長（大城佐一） 産業振興課長。

（大嶺 実産業振興課長 登壇）

○ 産業振興課長（大嶺 実） 議案第53号 土地改良事業の施行についての補足説明を行います。

説明資料の15ページから18ページをお開きください。

事業の概要は、大工又地区は平成7年度に農地開発事業により造成整備の実施が行われました。これまでは野菜や蕎麦などを栽培してきましたが、近年は若い営農者による施設栽培などの高収益性作物への転換が図られつつあります。

しかし、畑地かんがい施設が未整備であり、現状は近隣のため池から農業用水を確保するなど、営農に多大な努力を費やしているため、そこで本事業で畑地かんがい施設の整備を実施し、営農能力の軽減とさらなる生産性の向上を図る目的であります。

受益面積 5.1ha、受益戸数 6戸、主要工事 畑地かんがい施設一式、総事業費 2億4,500万円。

畑地かんがい施設一式とは簡単なイメージなのですが、平成18年から平成20年にかけて田嘉里土地改良区を整備しました。そこは田嘉里の2級河川の上流から自然流下で土地改良に水を供給していますけれども、今回の大工又地区は近くにため池がありまして、ため池から圃場の高さがほぼ同じ高さで自然流下ができないため、ため池から加圧式の機械を設置して、そこに水圧をかけて畑のほうに水を供給するものとなっています。

事業の細かい内容はいろいろありますから、委員会のほうで丁寧に説明しますので、ご審議のほどよろしくお願いします。

○ 議長（大城佐一） これで提案理由の説明を終わります。

◎議案第54号の上程、説明

○ 議長（大城佐一） 日程第9 議案第54号 令和4年度大宜味村一般会計補正予算（第10号）を議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。村長。

（友寄景善村長 登壇）

○ 村長（友寄景善） 議案第49号 令和4年度大宜味村一般会計補正予算（第10号）

令和4年度大宜味村の一般会計補正予算（第10号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ115万8,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ57億7,061万円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、

「第1表歳入歳出予算補正」による。

(繰越明許費の補正)

第2条 繰越明許費の追加は、「第2表繰越明許費補正」による。

(債務負担行為の補正)

第3条 債務負担行為の追加及び変更は、「第3表債務負担行為補正」による。

(地方債の補正)

第4条 地方債の変更は、「第4表地方債補正」による。

令和4年12月9日提出

大宜味村長 友寄景善

内容につきましては、担当課長から説明させていただきます。

○ 議長（大城佐一） 財務課長。

(佐久川紀亮財務課長 登壇)

○ 財務課長（佐久川紀亮） それでは、私のほうから補足説明を行います。

今回の予算の補正は、115万8,000円の増額補正となっております。

歳入の主な概要を説明します。予算書1ページお願いします。

14款国庫支出金255万4,000円の増額ですが、主にデジタル基盤改革支援補助金の減によるものです。

15款県支出金3,084万8,000円の減額については、主に沖縄振興特別推進交付金の減によるものとなっております。

18款繰入金3,951万7,000円の増額については、主に結い基金取崩金によるものとなっております。

21款村債510万円の減額については、主に河川整備事業の減によるものです。

以上が歳入の主な概要です。

続きまして歳出のほうを説明いたします。予算書2ページのほうをお願いいたします。

2款総務費427万5,000円の増額ですが、主にシステム改修委託料の減によるものです。

4款衛生費1,694万8,000円の増額ですが、主に簡易水道事業特別会計繰出金及び名護市し尿処理受入処理施設建設負担金の増によるものです。

6款農林水産業費828万4,000円の増額ですが、主に農林水産物流通条件不利性解消事業及び漁港建設費の増によるものとなっております。

7款商工費4,237万2,000円の増額については、主にむらづくり応援寄附事業委託料の増によるものとなっております。

8款土木費4,574万5,000円の減額ですが、主にふるさと河川環境再生・活用整備事業の減によるものでございます。

予算書3ページをお願いします。

10款教育費320万2,000円の減額については、主に会計年度任用職員報酬及び備品購入費の減によるものとなっております。

12款公債費3,011万4,000円の減額については、公債費の元金の減によるものです。

13款諸支出金2,204万9,000円の増額については、財政調整基金費の増によるものとなっております。

14款予備費については、789万5,000円の減額です。

以上が歳出の概要となります。

なお、4 ページに繰越明許費補正、5 ページに債務負担行為補正、6 ページに地方債補正を記載しております。

詳細については、予算審査特別委員会で各課長より説明させていただきます。

よろしく御審議のほどお願い申し上げます。

○ 議長（大城佐一） これで提案理由の説明を終わります。

◎議案第 55 号の上程、説明

○ 議長（大城佐一） 日程第10 議案第55号 令和4年度大宜味村国民健康保険特別会計補正予算（第3号）を議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。村長。

（友寄景善村長 登壇）

○ 村長（友寄景善） 議案第55号 令和4年度大宜味村国民健康保険特別会計補正予算（第3号）令和4年度大宜味村の国民健康保険特別会計補正予算（第3号）は、次に定めるところによる。（歳入歳出予算の補正）

第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4,731万8,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ6億1,874万円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表歳入歳出予算補正」による。

令和4年12月9日提出

大宜味村長 友寄景善

主な内容としては、歳入で5款県支出金4,714万3,000円の増、歳出では2款保険給付費5,470万3,000円の増、9款諸支出金71万6,000円の増、予備費819万8,000円の減となっております。

なお、詳細につきましては、委員会で担当課長から説明させていただきたいと思います。

御審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○ 議長（大城佐一） これで提案理由の説明を終わります。

◎議案第 56 号の上程、説明

○ 議長（大城佐一） 日程第11 議案第56号 令和4年度大宜味村簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）を議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。村長。

（友寄景善村長 登壇）

○ 村長（友寄景善） 議案第56号 令和4年度大宜味村簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）令和4年度大宜味村の簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）は、次に定めるところによる。（歳入歳出予算の補正）

第1条 歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ454万5,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1億5,876万5,000円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表歳入歳出予算補正」による。

(地方債の補正)

第2条 地方債の変更は、「第2表地方債補正」による。

令和4年12月9日提出

大宜味村長 友寄景善

内容としましては、歳入で4款繰入金365万5,000円の増額、7款村債820万円の減額となっております。歳出で1款簡易水道総務費454万5,000円の減額については、電気料金の高騰による光熱水費369万7,000円や修繕費の444万9,000円などの増額もありますが、単独事業工事請負費838万8,000円の減額など、実績に伴う減額となっております。

また、地方債の限度額も3,090万円から820万円を減額し、2,270万円となっております。

なお、詳細につきましては、予算審査特別委員会で担当課長より説明させていただきますので、御審議のほどよろしく申し上げます。

○ 議長（大城佐一） これで提案理由の説明を終わります。

◎議案第57号の上程、説明

○ 議長（大城佐一） 日程第12 議案第57号 令和4年度大宜味村公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）を議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。村長。

（友寄景善村長 登壇）

○ 村長（友寄景善） 議案第57号 令和4年度大宜味村公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）令和4年度大宜味村の公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）は、次に定めるところによる。（歳出予算の補正）

第1条 歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳出予算の金額は、「第1表歳出予算補正」による。

令和4年12月9日提出

大宜味村長 友寄景善

内容としましては、1款公共下水道事業総務費105万4,000円の増額については、主に電気料金の高騰によるものです。3款公債費1万2,000円の増額については、新規借り入れした公営企業適用債の利息となります。そのため4款予備費を106万6,000円減額しております。

なお、詳細につきましては、予算審査特別委員会で担当課長より説明させていただきますので、御審議のほどよろしく申し上げます。

○ 議長（大城佐一） これで提案理由の説明を終わります。

◎議案第58号の上程、説明

○ 議長（大城佐一） 日程第13 議案第58号 令和4年度大宜味村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）を議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。村長。

（友寄景善村長 登壇）

○ 村長（友寄景善） 議案第58号 令和4年度大宜味村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

令和４年度大宜味村の後期高齢者医療特別会計補正予算（第２号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第１条 歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ23万3,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ4,023万9,000円とする。

２ 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第１表歳入歳出予算補正」による。

令和４年12月９日提出

大宜味村長 友寄景善

内容につきましては、国、県の保険基盤安定繰入金の額が確定したことにより、歳入で４款繰入金23万3,000円の減、歳出で２款後期高齢者医療広域連合納付金23万3,000円の減となっております。

なお、詳細については、委員会で担当課長から説明させていただきたいと思います。

御審議のほどよろしくお願いします。

○ 議長（大城佐一） これで提案理由の説明を終わります。

◎散会の宣告

○ 議長（大城佐一） 以上で本日の日程は、全部終了しました。

本日は、これで散会します。

お疲れさまです。

（午前１０時４０分）

令和4年第10回大宜味村議会定例会会議録

(第2号) 令和4年12月12日

1. 開議、散会の日時

開 議 (令和4年12月12日 午前10時00分)

散 会 (令和4年12月12日 午後2時29分)

2. 出席議員 (9名)

1 番議員 宮 城 貢

2 番議員 宮 城 良 治

3 番議員 大 城 邦 彦

4 番議員 大 山 美佐子

6 番議員 前 田 孝

7 番議員 新 崎 悟 一

8 番議員 吉 浜 寛

9 番議員 平 良 嗣 男

10 番議員 大 城 佐 一

3. 欠席議員 (1名)

5 番議員 宮 城 美和子

4. 地方自治法第121条の規定により説明のため議場に出席した者の職・氏名は次のとおりである。

村 長 友 寄 景 善 教 育 長 米 須 邦 雄

総 務 課 長 宮 城 豊 教 育 課 長 真喜志 亮

財 務 課 長 佐久川 紀 亮 農 業 委 員 会 事 務 局 長 大 嶺 実

住 民 福 祉 課 長 宮 城 敦 監 査 事 務 局 長 新 城 寛

企 画 観 光 課 長 兼
プロジェクト推進室長 福 地 亮 選 挙 管 理 委 員 会 書 記 長 宮 城 豊

産 業 振 興 課 長 大 嶺 実

建 設 環 境 課 長 花 田 義 徳

会 計 課 長 知 念 和 史

5. 職務のため議場に出席した事務局員の職・氏名は次のとおりである。

事 務 局 長 新 城 寛 主 任 宮 城 宏 幸

6. 議事日程（第2号）

日程番号	事件番号	件 名	摘 要
1		一般質問	

◎開議の宣告

○ 議長（大城佐一） おはようございます。

本日の会議を開く前に、宮城美和子議員から傷病療養のための理由により、大宜味村議会会議規則第2条の規定により、本日より15日までの会議に出席できない旨の欠席届が出ております。

これから本日の会議を開きます。

（午前10時00分）

◎一般質問

○ 議長（大城佐一） 日程第1 一般質問を行います。

通告順により、発言を許します。

◇ 宮 城 貢 議員

○ 議長（大城佐一） 初めに1番 宮城 貢議員の一般質問を許可します。1番 宮城 貢議員。

○ 1番（宮城 貢） 村長の政治施政について。

令和4年度第6回（9月）定例会で『塩屋小学校跡地活用事業活用におけるバナメイエビ養殖事業の承認、取り消し処分の調査に関する特別委員会』委員長報告がありました。本委員会調査報告は、1調査の趣旨、2調査特別委員会の設置、3調査事件、4委員会の開催状況、5記録・資料の提出、6調査の内容、7調査の報告となっています。調査報告の締めは、質疑後に最終的な確認を行った際には、反対意見等もなく、参考人からの意見聴取の結果、行財政の運営や事務処理ないし事業の実施が適法・適正・公平・効率的・民主的に執行されていることを全会一致で確認した。皆さん、おかしくありませんか。今回の100条委員会の設置は一体何だったのでしょうか。調査の趣旨は真相究明され、何一つ疑惑もなく全会一致で承認されました。今回の100条委員会の設置は、選挙前に新聞の記事にして、宮城功光前村長には疑惑があるのだと、大宜味村議会を選挙の愚に利用したことであったと思われる。令和4年6月議会で、私の問いに対し、宮城功光前村長は「大宜味村議員が『ぜひ裁判に持って行ってほしい。悪くても和解の話が出てくるはずだから、そういう風に進めたらどうか』と言っていたとお聞きした」と答えました。村民を裏切り相手原告側に立つ当事者に対し怒りをもって告発していきたい。

友寄景善村長が当選の翌々日の沖縄タイムス、琉球新報の紙面で『裁判の和解を考えている』と原告側にメッセージ（シグナル）を送っています。裁判の和解は、大宜味村に金銭の支払いが発生するということです。村民への重大な背任行為です。裁判継続中の現在（9月中旬）、村当局からの説明も聞かず、原告側利害関係者からの情報で判断しての発言は、今後、行政事務手続きより政治判断で行政を進めていく不透明な村政運営になり、その結果、100条委員会の設置を村民から要望されていくと思います。

村長として、どのように受け止めて、どう対応していくのかを伺います。

②令和4年度後半の行政運営について伺います。

前政権の村行政手腕をどう評価され、本年度の重点施策をどのように進めていくかを伺います。新聞では友寄景善村長は村議会に対し『時間がかかっても対話を欠かさない』と話しています。

副村長の人事について、人選はどういう基準ですか。選挙の論功行賞ですか。自薦・他薦の中での妥

協案で選びますか。

以上です。お答えください。

○ 議長（大城佐一） 村長。

（友寄景善村長 登壇）

○ 村長（友寄景善） ①のご質問にお答えします。

9月13日の新聞紙面の内容は、「業者側と話し合いを持って解決策（着地点）を模索したい」とのことであり、金銭の支払いを想定したものではありません。この件に関しましては、当選直後の私の抱負や受け止め方を語ったものであります。現在は大宜味村長として被告の立場でありますので、係争中の裁判に影響を及ぼす恐れがありますので発言は控えなければならないものと考えております。

②のご質問にお答えします。行政は基本的に継続性を要するものと考えます。前村長が進めていました事業や計画は、今後とも進めてまいります。副村長の人選につきましては、村行財政を熟知し、村民や村職員と一緒に村政を進めることができる人物、併せて村長と共に職務を推進してもらえ人物を基本に人選いたしました。選挙の論功行賞は全く該当しません。自推・他推ありません。

○ 議長（大城佐一） 1番 宮城 貢議員。

○ 1番（宮城 貢） 伺います。

村長は議員として、6月末まで議員でした。バナメイエビ養殖事業裁判の訴訟等委託料を含む補正予算案に対して反対、請願第1号、特別委員会、百条委員会に賛成し、賛成討論を述べています。行政の長の現在、補正案に反対したことをどう思っていますか。

○ 議長（大城佐一） 村長。

○ 村長（友寄景善） 当時の議員としての答弁ですが、反対討論ですが、当時は議員としての立場での発言となっておりますので、御理解をお願いしたいと思います。

○ 議長（大城佐一） 1番 宮城 貢議員。

○ 1番（宮城 貢） 百条委員会は新聞記事になることで疑惑だと騒ぎ立てるためだけの手段だと。特別委員会、調査報告で調査の趣旨は真相究明され、何一つ疑惑もなく全会一致で承認されています。このことについての見解はいかがですか。

○ 議長（大城佐一） 村長。

○ 村長（友寄景善） この件につきましては、百条委員会のほうで調査されていたので、この結果については真摯に受け止めたいと思います。

○ 議長（大城佐一） 1番 宮城 貢議員。

○ 1番（宮城 貢） 選挙2日後の2紙の記事にはびっくりしました。先ほどの答弁で村長のほうで話し合うというのは、裁判の中では和解という話であると思います。村長のほうはそういう判断をいつの時点で判断されていますか。

○ 議長（大城佐一） 村長。

○ 村長（友寄景善） 選挙直後の私の思いを語っているものでありまして、これからにつきましては私、村長に就任し、被告の立場でありますので、先ほどから申し上げておりますように係争中の裁判に影響を及ぼすおそれがありますので、発言は控えなければならないものと考えております。

○ 議長（大城佐一） 1番 宮城 貢議員。

○ 1番（宮城 貢） 裁判の経過ですね、状況はどのように情報を得ていましたか。選挙期間、選挙、

村長の就任、どのタイミングで情報、特に大宜味村から、あと担当の村の顧問弁護士、いつの時点でお会いになっていますか。

○ 議長（大城佐一） 村長。

○ 村長（友寄景善） 担当弁護士とは就任して間もなくだったと思います。期日ははっきりしませんが、10月にはお会いしております。

○ 議長（大城佐一） 1 番 宮城 貢議員。

○ 1 番（宮城 貢） 村長の動態の中には弁護士の、大宜味村に来たのは10月20日、つまりそれ以外に裁判に関しての、個別に会ったということですか。10月20日はいつもの月 1 回の弁護関係ですが、そのバナメイエビの裁判の件で話し合われたということもありますか。

○ 議長（大城佐一） 村長。

○ 村長（友寄景善） おっしゃるとおり、行政相談の日に合わせて、村長に就任して間もないですので、裁判の状況等について弁護の先生のほうと担当課長のほうから今の状況等の説明をさせていただきました。

○ 議長（大城佐一） 1 番 宮城 貢議員。

○ 1 番（宮城 貢） 村長のほうとして、担当の弁護士、あと担当課のほうからそういうのを聞いて、今現在の裁判の状況をどう分析しておられますか。

○ 議長（大城佐一） 村長。

○ 村長（友寄景善） 詳しいことは申し上げられませんが、向こうから訴えられた内容につきましては、こっちからも反論してまいりたいと思います。

○ 議長（大城佐一） 1 番 宮城 貢議員。

○ 1 番（宮城 貢） 選挙期間中、当選、原告側利害関係者との接触はありましたか。

○ 議長（大城佐一） 村長。

○ 村長（友寄景善） ありません。

○ 議長（大城佐一） 1 番 宮城 貢議員。

○ 1 番（宮城 貢） 業者のほうと話合いを持つということで新聞のほうに載っております。それは僕は当然和解のことだと思っております。村長のほうとしてはその関係での話合いをしたいという、持っていくという話はあったのですが、そういう関係はやっていないということですね。

○ 議長（大城佐一） 村長。

○ 村長（友寄景善） そのような話はまだしていません。

○ 議長（大城佐一） 1 番 宮城 貢議員。

○ 1 番（宮城 貢） 私のほうの話では、今回行政手続で裁判として訴えられています。でも村のほうは行政手続ではなくて、商法、民事訴訟のほうの契約違反でやられています。つまり裁判のほうの裁判所のほうがどれを取り扱うかで、つまり民事訴訟、村のほうで言っていることを取り上げて、それを進めると、完全にこちらの100%の勝ちです。話し合う趣旨はありますか、そういう分析の中で今現在、村長としての立場、まだ業者側と話合って和解に持っていくということですか。

○ 議長（大城佐一） 村長。

○ 村長（友寄景善） 先ほどから申し上げていますように、今裁判係争中でありますので、裁判に影響を及ぼすおそれがありますので、私の発言は控えなければならないものと考えております。

○ 議長（大城佐一） 1 番 宮城 貢議員。

○ 1 番（宮城 貢） 前村政に対しての評価は伺っておりません。お願いします。

ちょっと村長のほうで2点ほど議員の時代から村のほう、行政のほうに2点あります。総合福祉センターの整備、あと結の浜地区の土地利用計画について、議員の期で3回通っております。この中で村長の本気度、意気込みを聞かせて整備を図っていただきたいという、福祉センターの件ですね。あと問いの中で、補助金がなくても住民、関係機関を巻き込んで、大宜味村ではどのような福祉センターがよいのかしっかりと議論して進めていくべき、総合福祉センター整備検討委員会を立ち上げてぜひやってもらいたい。村長の意気込みを伺うということで、令和3年3月定例会、そのように議員として行政側に提案しております。整備検討委員会の立ち上げはもう着手しておりますか。

○ 議長（大城佐一） 村長。

○ 村長（友寄景善） 総合福祉センターの整備ですが、名称は今変わっておりますが、福祉拠点施設整備事業だと思いますが、今この計画案を作成中で、12月、今月末にはこの整備計画案は完了する予定です。

○ 議長（大城佐一） 1 番 宮城 貢議員。

○ 1 番（宮城 貢） この件については、補助金がなくても進めていけますね。

○ 議長（大城佐一） 村長。

○ 村長（友寄景善） 当時議員のときの私の質問で、この福祉センターは長年の村の計画にも載っておりますし、早めにしてもらいたいという思いで補助事業がなくても、何らかの形で進めてほしいという思いがありまして、議員で早めにやるべきだということを質問してまいりました。現在は補助メニューを想定しての計画となっております。

○ 議長（大城佐一） 1 番 宮城 貢議員。

○ 1 番（宮城 貢） 補助事業の中で進めていく、どの事業だとつかんでいきますか。

○ 議長（大城佐一） 住民福祉課長。

○ 住民福祉課長（宮城 敦） 質問にお答えします。

現在、補助事業のメニューということで、どの事業で行っていくかということの質問だと思いますが、現在、特定推進事業、内閣府との調整を行っております。今現在、その調整中です。よろしく申し上げます。

○ 議長（大城佐一） 1 番 宮城 貢議員。

○ 1 番（宮城 貢） 北部振興策も考えておられますか。

○ 議長（大城佐一） 企画観光課長兼プロジェクト推進室長。

○ 企画観光課長兼プロジェクト推進室長（福地 亮） お答えいたします。

当初は北部振興事業での対応を考えておりましたが、この特定振興事業費のほうでエントリーをさせていただくということで内閣府に調整していますので、もしこれが、例えば採択できない場合、また次の北部振興事業であったり、ただ北部振興事業では福祉に関連する事業は難しいとされておりますので、そのときにはまた次のものをどう考えるか。今はこの特定事業推進のほうに全力を注ぎたいと考えております。

○ 議長（大城佐一） 1 番 宮城 貢議員。

○ 1 番（宮城 貢） 先ほど話したように、補助金がなくても、この件は住民、関係機関を巻き込ん

で、大宜味村のどのような福祉センターがいいのかということを経理がトップになってやるべきじゃございませんか。

○ 議長（大城佐一） 村長。

○ 村長（友寄景善） 福祉センター整備につきましては、私が村長に就任する前から委員会等を立ち上げて計画を練っている事業で、先ほど申し上げましたように、計画案は12月、今月中には完了する予定です。

○ 議長（大城佐一） 1 番 宮城 貢議員。

○ 1 番（宮城 貢） 先ほど課長のほうから北部振興策でエントリーしていると。もう1点、結の浜地区土地利用計画について村長の新聞の中で、結の浜地区の土地利用についてエントリーしているというのがありますが、この両方のプロジェクト、両方とも北部振興策ですか。

○ 議長（大城佐一） 企画観光課長兼プロジェクト推進室長。

○ 企画観光課長兼プロジェクト推進室長（福地 亮） お答えいたします。

この中身については、結の浜の海浜整備とスポーツ拠点の整備計画になっていると思います。こちらのほうは北部振興の事業の5年計画、または10年計画というのがありまして、その中にエントリーをさせていただいて、まず結の浜の海浜整備のほうから先に、今年度の末にやってエントリーをさせていただいて、採択されれば次年度からの事業振興になると思います。

○ 議長（大城佐一） 1 番 宮城 貢議員。

○ 1 番（宮城 貢） ありがとうございます。ぜひとも事業を進める形で、ちょっと心配だったのは選挙戦を戦いながら功光村政への批判として箱物行政だと、村長が新しく自分が村長になれば事業は何もやらないよと。福祉関係をメインにするという話が聞こえてきましたが、後半部分の、特に平成4年度、進められるプロジェクトに関してはその関係で進めていくということでしょうか。

○ 議長（大城佐一） 村長。

○ 村長（友寄景善） 私、箱物行政とか、推進するとか、そのような発言をした記憶はありません。後半の行政も、今現在進められている事業、これは過去にも大きな予算を使っておりますし、職員も計画の構想、計画案について多大な労力を要しておりますし、この労力も無にしないように先ほど申し上げましたように、継続性が基本ですので、そのまま事業を進めてまいりたいと考えております。

○ 議長（大城佐一） 1 番 宮城 貢議員。

○ 1 番（宮城 貢） バナメイエビの裁判問題はまた後で議員のほうからの質疑事項の中であります。ぜひともこの件について大宜味村が金銭の支払いがないような形、先ほど話合いが和解ではないといっていますが、ぜひとも裁判には勝ち取ってもらって、何の非もない大宜味村行政のほうが、行政手続がおかしかったというのを実は、おかしいんですね。村長のほうで行政手続がおかしいって。その話している本人が今回行政の長になって、今後どのように、間違っても裁判の中でそういうことを村長のほうで話していくということがありますか。

○ 議長（大城佐一） 村長。

○ 村長（友寄景善） 現在の私の立場としては、訴えられたことに対して反論していくという立場にありまして、裁判に影響を及ぼすような発言は差し控えなければならないと考えております。

○ 議長（大城佐一） 1 番 宮城 貢議員。

○ 1 番（宮城 貢） すみません、また確認です。原告側と話し合う予定はありますか。

○ 議長（大城佐一） 村長。

○ 村長（友寄景善） この件につきましても裁判の状況を見極めながら対応してまいりたいと思いますし、今この段階での発言は差し控えさせていただきます。

○ 議長（大城佐一） 以上で1番 宮城 貢議員の一般質問を終わります。

◇ 吉 浜 覚 議員

○ 議長（大城佐一） 次に8番 吉浜 覚議員の一般質問を許可します。8番 吉浜 覚議員。

○ 8番（吉浜 覚） これまでに、村は高校卒業までにこども医療費窓口無料化の実現で安心・安全な子育てや保護者の負担軽減につながっている。また、友寄村長の学校給食費無料化のくがにどんどん政策を保護者が歓迎し早期実施を期待している。

しかし、これまでに村立農村環境改善センター前バス停留所の待合所施設屋根が約4年も無く、スクールバスを急場しのぎにセンター構内に進入しての児童生徒の迎えは歪な体制となっている。また、児童が普通学級になじめず支援学級の授業を希望している不登校児の村内での適正な教育が受けられない等の問題が生じている。

友寄村長は、村政を進める基本的な方向を社会全体で温かく見守り育てる環境の整備や一人一人の能力を引き出し、夢や希望が実現できるよう、その人らしい生き方を支援する人材育成を進めると示しているが、保護者の負担軽減や誰一人取り残さない優しい子育て政策をどう展開していくか説明を求める。

（2）国は、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現する。また、県は島・村に残りたい人ができるだけ長く島（村）にいられるようにする在島・在村限界点を高めるために「調査・検討モデル事業」を大宜味村でも展開している。さらに、村は生涯にわたる健康づくりとして、健康福祉の村づくりを推進している。

しかし、村民の健康保持に必要な診療を行うため、村立診療所を設置しているが、前村長が診療所の管理運営を委託している医師が今年度でやめるとの説明があり、新たな医者確保の問題があるが、今後村民の健康保持に必要な住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現と長く村にいられるようにする在村限界点を高めるための診療を行うための診療所の運営方針の説明を求める。

（3）有機フッ素化合物PFASは自然界では分解することなく、耐熱、耐水、汚れ防止などのために様々な製品に使われるが、人体には有害でがん、甲状腺異常、肝臓障害、出生異常、免疫抑制など広範な健康被害の可能性があるとして、有機フッ素化合物から市民の生命を守る連絡会は、PFASの血中濃度調査を行っている。米軍基地に隣接する地域や北谷浄水場から給水を受ける自治体と比較するため、基地が無く独自の水源地を利用している大宜味村も対象となった。

しかし、水源もPFAS汚染されていないのかかわらず、全国平均を大きく上回る値が出た人もいる予想外の結果に、村民・県民や関係者から不安や困惑の声があるが、村としてPFASから村民の健康を守るためにどのような対応をするのか説明を求める。すみません、この件は一番健康で安心安全な生活環境づくりについてを読み上げ忘れていたので追加したいと思います。

2. 透明性や公平性、公正性な行政運営について。

（1）村は、これまでに入札等の関連の行政運営で、工事の施工に会計検査院が手抜き工事を指摘され、工事施工や検査の杜撰さが浮き彫りになった事例は癒着そのものである。また、官製談合が延々と続

くかのように、村民、議員、請負業界や県警からの疑惑の実態を示したようなもので官製談合疑惑が晴れるものではない。予定価格の事前公表することで談合が一層容易におこなわれる可能性があることなど、事の真相をはぐらかし業者に背けているのではないか。

村は、今後工事成績評価、総合評価落札方式などを制度化し、入札・工事管理監督体制を充実させることが行政の信頼を取り戻す重要課題がある認識をする。友寄村長は、疑惑や疑念が生じないよう透明で公正なガラス張りの村政を進める方向を示しているが、透明性や公平性、公正性な行政運営に繋がる改善策はないか説明を求める。

(2) 村が塩屋小学校跡地活用事業においてバナメイエビ養殖事業の承認や取り消し処分を行った為に損害賠償請求事件についての弁護士による裁判の進捗状況報告書を議会に提供できないか答弁を求める。

(3) 前村長は、田嘉里集落から国頭村字浜に向けての村道に村営水道の本管布設工事着工をすると説明があったとしているが、いつ実施するのか説明を求める。

3. 資源を活かした地域振興について。(1) 友寄村長は、くがにどんどん政策で、大宜味村のキーワードの一つ「シークワサーの里」を名実ともに実現するため、価格をキロ当たり150円に引き上げ、経営基盤の安定と後継者育成を図らなければなりません。とあるが価格をキロ当たり150円の具体的な算出根拠の説明を求める。

(2) 村特産品加工施設（シークワサー加工施設）内の空き地で10月末に農家から測量をしているとの情報があるが、シークワサー経営基盤の安定のため加工施設拡充事業の実施なのか説明を求める。

(3) 喜如嘉区土地改良区の波佐間原からの土砂流出が度々発生して、農業や生活に支障きたしているが対策がないか説明を求める。

○ 議長（大城佐一） 村長。

（友寄景善村長 登壇）

○ 村長（友寄景善） (1) の保護者の負担軽減や誰ひとり取り残さない優しい子育て政策をどう展開していくかについてお答えします。

学校給食費の段階的無償化を図り、出産祝い金を第一子から10万円に、さらに英語検定や漢字検定料金等の補助の拡大を図ってまいりたいと思います。子育ては社会全体、地域ぐるみで取り組む必要があります。役場内に子育て支援を推進する係を設置し、子育て支援センターの充実強化や幼小接続の連携を図って参ります。引き続き学習支援員や地域支援員を配置し、個々の児童生徒に応じた教育を進めて参ります。

(2) については、本村の65歳以上の人口が1,200人を超え、高齢化率は、約40%と県内でも高い状況にあり、今後も高齢化率は上がっていくことが予想されております。そのような中、高齢者が住み慣れた地域で尊厳を持って安心して生活が出来るようにするため、本村の実情に合わせた地域包括ケアシステムの構築に向け、現在取り組んでいるところでございます。

村立診療所につきましては、今後も継続して、現在委託しております医師と連携し、村民の健康保持に努めてまいります。

(3) については有機フッ素化合物PFASにつきましては、報道等により把握はしているところではありますが、現在のところ具体的な対応は検討しておりません。国と県の動向を注視し、対応していきたいと考えております。

次、入札関連についてですが、予定価格の事前公表につきましては、公表することにより予定価格が

目安となって、競争が制限され、落札価格が高止まりになること、業者の見積もり努力を損なわせること、談合が一層容易に行われる可能性があることから村としては、契約締結後に公表してまいります。

落札につきましても予定価格の範囲内において最低の価格をもって申込をした者を落札者としてまいります。

バナメイエビ養殖事業関連ですが、毎回の裁判が終了後、弁護士から報告書を受けております。その書面について提供は可能でございます。

次（３）水道管布設工事に関することですが、本村の簡易水道事業は、開始してから約40年が経過しており施設の老朽化に伴い、水道施設の修繕や更新費用などこれまで以上に多額な費用が必要だと考えられます。

しかし、独立採算であるべき事業ですが経営基盤が乏しく、一般会計からの多額の繰入金により運営しております。そのため、単独事業での拡張が厳しく国庫補助で対応を検討しており県と協議しているところでございます。

次、資源を活かした地域振興に関連してですが、（１）の生産農家から聞き取りや要望等からキロ当たり150円の価格ですと経営基盤の安定と後継者の育成が図られ、農家として経営がやっていけることから、キロ当たり150円に設定しました。

次、特産品加工施設の空き地に関連してですが、空き地箇所は、沖縄振興特定事業推進費民間事業費を活用して、民間業者が癒しの森と特産品加工施設の空き地を利用して、産業基盤が脆弱な沖縄北部地域において、雇用環境等の構築や農家所得の向上を図るため、天然繊維等の製造施設の整備を行うためであり、空き地箇所には、天然繊維工場及び社員寮等が計画されております。

次、（３）の土地改良区の件ですが、喜如嘉区から要請があり、区長と地域の関係者で現場を確認し、畑の内の水路が大きく浸食されていることから、今回の補正予算で修繕費を計上しており水路浸食を防止するため、水路に石積み及びコンクリートで土砂流出対策を速やかに実施して参ります。

○ 議長（大城佐一） 教育長。

（米須邦雄教育長 登壇）

○ 教育長（米須邦雄） お答えします。

吉浜議員の通告では教育長の答弁を求めています、質問要旨から教育委員会への質問が読み取れないということで答弁いたしかねます。

○ 議長（大城佐一） ８番 吉浜 覚議員。

○ ８番（吉浜 覚） １の（１）の関係ですけれども、教育委員会が読み取れないと言っておりますけど、関連ですけれども、もちろん今不登校の子供たちもいると。そして予算でも、小学校も、こども園もそうなんですけれども、こども園についても減額要請があるので、この特別審議委員会でも話すんですが、基本的に目が届かない、そして不登校の子も１年半かかっても学校に行けないんだと。理由もいろいろあるんですが、そういう問題をそれでいいのかというふうに思っています。そして喜如嘉のバス停留所の問題については、校内に入れて閉鎖的になって、警察官があそこに貼り付けられているものですから、ほかで安全指導もできない。地域の人たちはいつまでこんなことをさせているのかという問題もあるんです。だからこの子供たちに優しく、誰でも健康に学校に行けるような形で、どうしたらいいのかということでこの答弁の読み取れないということになっているんですけど、ぜひ教育長も、村長もその問題についてもう一度答弁お願いします。具体的に対応をどういうふうに行っていくのか、

お願いします。

○ 議長（大城佐一） 教育課長。

○ 教育課長（真喜志 亮） お答えします。

まずスクールバスの件についてですが、スクールバスについては令和2年11月から改善センター内にて乗車のほうを行っております。先ほどありましたように駐在、あるいは地域住民の方々の協力をもって安全にスクールバスに乗車ができているものと考えております。やはり地域住民との関わり、その辺も大切だと思いますので、今後ともそこは継続していきたいと考えています。

あと不登校の問題については、やはりいろいろな原因で不登校になっているということがありますので、そこは学校内でのケース会議、あるいはその辺でどうしても特別支援学級で授業が必要である児童生徒については、教育委員会の教育支援委員会というのがありますので、そこで専門家の意見であったり、また住民福祉課とか学校特別支援コーディネーターとの連携も図りながら、その辺は特別支援学級で本当に必要なのかという判断をしながら普通学級から特別支援学級への移行というのも決定する流れになっていますので、そこら辺は御理解いただきたいと思います。

○ 議長（大城佐一） 8番 吉浜 覚議員。

○ 8番（吉浜 覚） 今の問題、地域のバス送迎の関係だけど、ほかの場所に警察官が貼り付けられて、その辺の安全確認もできないような状況と、いつまでもそういう変則的にさせているのかということで、地域から不満が出ていることは認識してください。

それと子供の不登校のもの、様々な問題があるけど、1年半とかこんな長い期間そのままでいいのかと。大宜味で約20年ぐらい前から、もうちょっと前か分からないけど、全国一不登校の多い学校ということで揶揄されていました。様々な問題で不登校の子が多かったと思います。その時期に不登校だった人たちがまだひきこもりがいます。だからその辺の件は早い時期に、暫定的にでも対応できるように対処していただきたいと要望してこの件は終わります。

2番目に村立診療所の関係ですけれども、私が前村長のときに言ったのは、看取り、訪問診療をやっていないと地域から言われて、関連する医療、介護、福祉の関係者からも実情を訴えられて私はこの件は言っております。そういうことで、きっちり何で村で見ないかと。ほかの隣接する村医が来ている事実を確認して、村の医者を断っているんだと。その窮状を訴えられて今年ずっとこの件は言っております。それと後、この診療の案内です。大宜味は窓に貼り付けられた網戸の、窓に貼られて、網戸に被されてどこにあるかなとよく見たら、そこにあったんですけれども。そして訪問診療やっていると、国頭に行ったらちゃんとあるんですよ。何でその辺をきちんと表示しないかと。そして国頭村なんかは最近、もちろん訪問診療の日時もうたわれていて、チラシもあります。要するに木曜日午後から訪問診療のために医師不在となっていますというような説明もしているんですよ。それが前村長はそれを政策で打ち上げて当選していたものですから、その件どうなっているかと言ったら、1人では対応できないとか、こんな言いぶりしてですね、こんないびつな形になっているのでその辺を精査してきちんとやってもらいたいと思います。答弁をお願いします。

○ 議長（大城佐一） 住民福祉課長。

○ 住民福祉課長（宮城 敦） 吉浜議員の質問にお答えします。

6月定例会のときにも質問を受けて回答してきたところですが、まず訪問診療と看取りの件につきましては、6月時点では在宅で1人2回ということで、施設でやんばるの家は毎週木曜日と土曜日に、外

来が休診日に訪問して看取りと訪問診療等を行っているということでお伝えしてきたところであります。現在はまだ確認は取れておりませんが、調整しながら、この診療時間と窓口にいらっしゃる患者さんを診療しながら訪問診療、看取り等を行っていくわけですが、吉浜議員がおっしゃっているところにつきましては、往診も含めての話だとは思っております。往診につきましては、窓口1人診療体制でありますので、急に往診に来てくれということの対応は恐らく今現状でもできない対応だと思っております。訪問診療につきましては、医師と相談を受けながら訪問診療をしていく流れもあると思います。その点については御理解いただけたらと思います。あと診療所の窓口のお知らせ等につきましては、そちらのほうはまだ確認が私のほうでできていないので、そちらのほうを確認していきたいと思います。以上です。

○ 議長（大城佐一） 8番 吉浜 覚議員。

○ 8番（吉浜 覚） 理解してもらいたいということを言っているんだけど、理解できません。国頭の診療所はできるのに、何で大宜味の診療所ができないのか。それで往診の話はしているんですけど、外来がいるときは確かに往診厳しいですよ。だから時間をずらしてから来ます。訪問診療は、じゃあどういうふうに村民に通知するんですか、意思表示するんですか。国頭なんかはちゃんと診療所の前にこの日は訪問診療ですとちゃんとうたっているんですよ。言い訳ですよ、今の話。きちんとしてください。訪問診療する、訪問診療の時間は取ってやるわけだから。それでその訪問診療外は外来でやって、往診の場合は外来もあるから、それを外してからやるとしかできないですよ。これは理解しています。今やっていることを理解してくださいということは答弁になっていません。何のための村立診療所ですか。それを改善してください。

それから（3）の有機フッ素の件ですけど、一応、県や国の動向を見極めるという話でしたけど、後から議員から話も出てくると思いますが、この有機フッ素についてはせんだって報告会がありました。今報告している中で、報告書の最後で、大宜味村のPFAS血中濃度を通して、メンターは省略しますが、大宜味村民は大宜味村簡易水道から給水を受けているが、PFAS汚染調査でこの水道水は汚染されていない。大宜味村は米軍基地も廃棄処理場もない。大宜味村、採血したPFASの血中濃度はほかの地域より低いが環境省の全国調査のPFAS濃度より高くなっている。この差は両者の平均年齢の差が一因になっていると思われるが、浄水場や下水道処理場の汚泥の農業利用のその他の原因についても調べる必要がある。大宜味村は、今肥料については補助を出していると思います。そしてこの飼料を取り扱っているところから汚泥を入れた肥料も使っていたと。私が確認したときにはなかったですが、使っていたと。だからそこから発生しているんじゃないかと。この汚泥は県内あちこちから採取されていると思うので、その辺の調査は県や国の動向だけじゃなくて、大宜味村も堆肥に対する助成もしているわけだから、その辺も調査して対策する必要があるんじゃないですか。その辺を答弁お願いします。

○ 議長（大城佐一） 村長。

○ 村長（友寄景善） PFASの件に関しまして、大宜味村は基地所在周辺の住民と基地のないところということで大宜味村は調査対象になって、私も検査しましたが、確かに大宜味村も高い数値、先ほどありましたが、なぜ大宜味村が全国調査にして高いかということは、大宜味村は調査した平均年齢が60.何歳か。全国調査は40何歳かということを聞いたんですが、その年齢の差もあると思うんですが、まずPFASに関しては、やはりこれは何が原因なのかをはっきり究明する必要があると思います。今回大宜味村も対象になったんですが、広域的に調査をして、何が原因なのかをはっきり特定する、原因

がはっきりしないままでの村の対応はできませんので、国、県も今調査に向けての作業を進めているようですので、これを受けて、原因がはっきりした後での村の行動対応を図って、予測とかそういうもので対応すると大変なことになりますので、先ほどから申し上げているようにまずは原因究明、広範囲的な調査をしていただきたい。そういうことです。

○ 議長（大城佐一） 8番 吉浜 覚議員。

○ 8番（吉浜 覚） 国、県の対応を待ってからということですが、循環型の社会をつくるのは私賛成です。この有機肥料にもPFASの汚染されたものが入っていればそこに問題があるわけですから、PFASのこの管理をされていない国に対してきちんと言うべきだと。第二の水俣病にならないように、循環型のものについては賛成します。これはみんな社会の仕組みとして、持続可能なものを求めるためにはそれをすべきだけど、大宜味村もほかの地域もその被害がないだろうと思われていたところも同じじゃないかと、社会全体が。それぐらい言われているので。村としては国に対して、県は調査に入ると言うことを言っているんですが、国に対してPFASの問題について積極的に対応するということの姿勢を尊重してほしいですが、いかがですか。

○ 議長（大城佐一） 村長。

○ 村長（友寄景善） 村として村民の健康、命を守るのは最も重要な業務の一つでありますので、先ほどから申していますように、このPFASの値が高いということは原因の究明がまず先であると思いますし、また国、県と連携してこの調査等に協力してまいりたい。健康のためには積極的に取り組んでまいりたいと思います。

○ 議長（大城佐一） 8番 吉浜 覚議員。

○ 8番（吉浜 覚） 2の（1）について。予定価格の範囲内に最低価格を申し入れた落札者としますと、もし、いろいろあるんですが、これまでと一緒に、要するに予定価格が事前公表されるといろいろ問題があるということを行っているんですが、やっているところもあります。私は役場の都合でそうやっているんだというふうな形で思っているんですが、この件はまた長々となると思うので今回は割愛しますが、大宜味村の公共工事の入札及び契約の過程並びに契約の内容等に関わる情報の公表に関する要領について、きっちり今やっているとは思いませんので、その辺を村長が言っている、透明性の村政を求めるということを行っているので、この辺の改正はどう思っているかお聞きしたいと思います。

○ 議長（大城佐一） 村長。

○ 村長（友寄景善） 入札関連に関しましては、指名競争入札等がありますが、競争入札できるように、適正かつ公平な入札の執行に努めてまいりたいと思います。

○ 議長（大城佐一） 8番 吉浜 覚議員。

○ 8番（吉浜 覚） 今言われたように、前村長のときにはいろいろありました。また変えてほしいという思いで村長に付された人もいますので、その辺はさっき言った要領の、本当に透明性のあるような形の改正をやっていただきたいと思いますので、引き続き住民に透明性のあるような入札制度に持って行っていただきたいと思います。

○ 議長（大城佐一） 吉浜 覚議員、質問時間が残り少なくなりましたので、簡潔に質問をお願いいたします。

○ 8番（吉浜 覚） 2番のバナメイエビの関係ですが、弁護士からの報告を受けています。その書面については提供可能でございますということで、提供するという確認の答弁をいただきたいと思いま

すが、よろしく申し上げます。

○ 議長（大城佐一） 村長。

○ 村長（友寄景善） お答えします。

書面の提供は可能です。

○ 議長（大城佐一） 8 番 吉浜 覚議員。

○ 8 番（吉浜 覚） 3 番の（1）シークワサーの150円に設定いたしましたということになっているんですけども、今の業者は160円で買っております。私が分かっていない複数の業者がいますが、そして最近いろいろの、燃料とかも上がっておりますので、とてもじゃないけど150円ではやっていけないと思います。過去にシークワサー振興室ができていたときに、大宜味村が出した収益総括表、生産金額ですね、これは、200円、250円、300円のものがあるので、ぜひとも技術方針を村で率先して農家の人たちに夢を与える設定、基盤づくりをやっていただきたいと思いますと思いますが、いかがですか。

○ 議長（大城佐一） 村長。

○ 村長（友寄景善） 150円の設定ということですが、これは現在 J A のほうですね、農家は J A に 60% ぐらいですか、J A のほうに出荷されておまして、この関係者のほうからの要望が、価格は安定してほしい。先ほど160円というのもありましたが、場合によってはまた120円に落ち込んだりして非常に不安定であるということもありまして、農家としてはキロ当たり150円に上げてもらえればどうにかやっていけると。しかし、当時と今の状況はまた違っておまして、物価高騰で150円でも経営は厳しいだろうなということがありまして、一応150円と設定しているんですが、農家としては控えめな要望、最低限これだけないと経営基盤が安定しない。後継者もいなくなるというふうなことをおっしゃっていました。私自身もシークワサーの里を名実共に実現するためには、もっともっとシークワサーに力を入れて、農家の経営基盤安定、そして後継者の育成を図って、シークワサーの振興を図ってまいりたいと思います。以上です。

○ 議長（大城佐一） 8 番 吉浜 覚議員。

○ 8 番（吉浜 覚） 新村長のシークワサーに対する思いは分かりますが、過去にシークワサー振興室があったときにそれぐらいのものを出して、村民や農家の人たちに夢を与えています。現実的に産業基盤を安定させる意味の価格設定をきちんとやっていただきたいと思います。再度要望いたします。次に移ります。

3 の（2）シークワサー加工場の隣の件を聞いたんですが、沖縄振興特別推進事業民間事業活用としてそこに関連の計画がされていると。いつこのようなことになったのか。具体的に説明を求めます。

○ 議長（大城佐一） 産業振興課長兼農業委員会事務局長。

○ 産業振興課長兼農業委員会事務局長（大嶺 実） 吉浜議員の質問にお答えします。

私の今、ちょっと調べたら分かりますけれども、6 月ぐらいだと思います。これは株式会社フードリボンが民間活用事業をやりたいということで、内閣府のほうにやりたいということでありました。そこを、これは民間活用事業ですから、村からの財政指数はゼロ、10 分の 8 の補助事業です。総事業費は17 億円余り、フードリボンが4 億円ぐらい。そういう話があって、まずケレス沖縄の分は約4,000 平米余りあります。一部400 平米ぐらいは普通財産で、年間7 万円で、事務所とコンテナがありますけれども、貸付けをやっている状況です。ケレス工場のほうに繊維工場とかそういうのを造りたいというのがあったので、まずはケレス沖縄工場の同意が必要だと。同意がないと厳しいですよと話しました。そうした

らフードリボンはケレスの社長と話し合っ、ちゃんと同意を頂いてもらっています。そうしたことを踏まえて、恐らく僕の記憶では9月30日、内閣府が正式に補助金を決定されています。認めたんです、これは活用できますよと。それを確認して30日の同じ日付でフードリボンとの、3,600平米余りでしたか、契約を締結して10月1日から貸付けが始まっています。それからしばらくして測量がいろんな、繊維工場の工場とか社員寮とかの設計に当たって測量が始まったと思っています。以上です。

○ 議長（大城佐一） 8番 吉浜 覚議員。

○ 8番（吉浜 覚） 村から金はないという話をしていたんですけど、この事業については台湾で視察があったと思います。前村長と東村長も賛同されている写真を見ました。しかし、東村もこの事業と関連して、並行してやっているのか。それとあの土地を公募してから貸すというようなことをやったのか。その辺も説明いただきたいと思います。よろしくお願いします。

○ 議長（大城佐一） 産業振興課長兼農業委員会事務局長。

○ 産業振興課長兼農業委員会事務局長（大嶺 実） 質問にお答えします。

前村長が台湾とかフードリボンと一緒に視察したのか、私は現時点では分かっておりません。貸付けの契約に当たっては公募とかは一切しておりません。以上です。

（「東村も関わっている？」と呼ぶ者あり）

○ 産業振興課長兼農業委員会事務局長（大嶺 実） 吉浜議員が言うように、この天然繊維の工場の趣旨は、パイナップルの葉、残渣、または芭蕉の茎の残渣を利用して天然性の糸とかそういった繊維を作るわけです。大宜味村にはパイナップルというのはほとんどない。東村が大本ですよ、パイナップルは。あとは石垣、台湾、そういった関係市町村を活用して大宜味村のほうで集めてこの天然繊維を作るということで、東村も協力しますという話を聞いております。石垣産も。以上です。

○ 議長（大城佐一） 8番 吉浜 覚議員。

○ 8番（吉浜 覚） 公募もしていない。東村も協力するということでしたけれども、これは事業の趣旨と少しかけ離れているような気がしますので、また次回に質問していきたいと思います。今日はこれで終わります。

○ 議長（大城佐一） 以上で8番 吉浜 覚議員の一般質問を終わります。

○ 議長（大城佐一） 休憩します。

（午前11時11分）

○ 議長（大城佐一） 休憩前に引き続き会議を開きます。

（午前11時20分）

◇ 新 崎 悟 一 議員

○ 議長（大城佐一） 次に7番 新崎悟一議員の一般質問を許可します。7番 新崎悟一議員。

○ 7番（新崎悟一） 質問する前に、質問するに至った経緯の説明を少し行い、質問に移らせていただきたいと思います。

さきにあった議員選挙にて、村民の代表に選ばれ、村民の皆様に感謝するとともに大変な重責を担っていると日々自覚している毎日であります。その村民より、日々様々な意見、要望が届き、私なりにど

うすればよい解決方法があるのか苦慮しております。

意見、要望には大小様々なことがありますが、一番大きな意見は行政に対しての不信感です。日々、行政の皆様は大変頑張り努力し、村政を運営しているにもかかわらず不信感が生まれていることは大変残念なことです。なぜ不信感が生まれているのか。それは村行政の不透明感、シーブサ勝手にやっているというのが多く村民から聞こえてきます。

友寄景善村長が就任して2か月になりますが、この少ない期間に説明会を積極的に開く計画を立て、透明性を高め、村民に寄り添った行政運営に既に取り組まれているところは大変敬服するところです。

まさに今までこの住民に説明をするという行為がなく、いろいろなことが決定していたことが住民軽視と捉えられ、不透明感を助長していたと考えます。このような事態になったのは村行政のコンプライアンスの欠如、ガバナンスの崩壊があるのではないのでしょうか。

このような観点からコンプライアンスについて伺います。

①本村におけるコンプライアンスについての取り組み、現状認識について。

②過去、本村がコンプライアンスを遵守しているのか、疑問を持つ件が散見されるが、現状の打開を今後どのように行うのか。

③コンプライアンス委員会設置を検討できないのか。

次にガバナンスについて伺います。

①本村におけるガバナンスについての考え。

②ガバナンスが欠如していると思われるところはあるか。

③本村職員に対してガバナンスの教育等を行う予定はあるか。

また、大宜味村は産業が十分振興していないにもかかわらず、補助金事業に対して効果を無視した一部積極的な承認を行っているように思われます。事業者にとって補助金はとても大切な行政からの支援になりますが、事業者は本来苦勞して借入れや自己資金で準備する資金調達に苦勞せずに調達できることにより、補助金を取得することがメインになり、事業についておろそかになり産業が育たない結果になっている。お金も出すけれども、お金を稼ぐ方法や、周りの環境を整えていくことも行政の仕事ではないのでしょうか。

また、行政が補助金を出すのはその資金で事業を行わせ、収益を得させることで行政に村税として利益が戻ってくるからです。そのような調査まで行っているのでしょうか。

また、一企業や小規模団体へ何億円もの事業費に対して低負担金の補助金交付がされているようですが、補助金というのは税金申請時には一定の要件、国庫補助金などを除き、原則として雑所得になり、売上げの計上となります。

普通に考えたら、減価償却の原則から言っても10万円以上の物品の購入に充てた費用については、耐用年数に応じた減価償却額だけが損金として認められることから、結果補助金に課税がなされ、小規模団体や設立が浅い自己資金が少ない企業にとって税金が大きな負担となり、資金ショート、いわゆるお金がなくなり倒産ということにもなりかねない。このあたりも考慮してただお金を出す、与えるという観点だけではなく、事業者を育てよう、産業を振興し事業収入を伸ばしてもらい、村の歳入を増やそうという観点で補助金の認定や交付をしたほうがよいと考えます。

このことから補助金の認定について伺います。

①本村において補助金申請の認定を出す際の審査をどのような基準で行っているのか。

②補助金交付後の監督、指導は適切に行われているのか。

③審査基準に新しい基準を導入する考えは有るのか。

この3つの質問事項について、村長にお伺いいたします。

○ 議長（大城佐一） 村長。

（友寄景善村長 登壇）

○ 村長（友寄景善） お答えします。

最初のコンプライアンスの取組と現状の認識についてです。

①コンプライアンスの取り組みについては、初任者研修で県主催の研修会への派遣や村独自での初任者への研修を行っております。現状の認識はコンプライアンスは守られていると認識しております。

②につきましては、質問の趣旨及び条例名が分かりませんので答弁いたしかねます

③委員会の設置の件ですが、現在は設置の予定はありませんが、必要と認める場合には検討してまいります。

次はガバナンスについてですが、①大宜味村におけるガバナンスについては、コンプライアンスを維持・改善するための「管理体制」がガバナンスだと考えますので、強化をしていきたいと考えております。

②私が村長に就任してから2か月が経ちますが、現在ガバナンスが欠如しているとは思っておりません。

次③の教育の件ですが、必要かどうか精査し、検討したいと考えております。

次、補助金認定についてですが、①については、大宜味村補助金等交付規程に基づき、交付申請書の内容を審査し、適当と認めたものについて、予算の範囲内で決定しております。

②については、実績報告書等の書類審査及び必要に応じて実地調査し確認を行っております。

③については、現時点では新たな基準を導入する予定はございません。

○ 議長（大城佐一） 7番 新崎悟一議員。

○ 7番（新崎悟一） 私がコンプライアンスを遵守していないのではと認識している件は多岐にありますが、資料に添付した長寿と癒しの森エリア活用事業、この申請書類に対して委員会などが出した決定の経緯などを確認するととても理解できないところが多々あります。全て指摘していると時間がなくなりますので、すごく絞り指摘いたします。

参加表明書が令和4年1月26日に提出があり、応募事業者名、大宜味サーキュラービレッジ株式会社、事務担当平良香織氏から提出されています。応募申請書は同年2月9日に提出となっております。これのどこがコンプライアンスを遵守していないのでしょうか。

9月定例会の議案第36号の説明資料に、履歴事項全部証明書が添付されていると思いますが、法務局まで行き、私も同証明書を取得してまいりました。その中に会社成立の年月日の欄に、令和4年7月12日となっている。どういうことでしょうか。サンコウ委員長に聞きたいのですが、サンコウ委員長の部分が黒塗りされ誰か分からないので、黒塗りされた理由とともに伺いいたします。

○ 議長（大城佐一） 休憩します。

（午前11時29分）

○ 議長（大城佐一） 再開します。

○ 議長（大城佐一） 企画観光課長兼プロジェクト推進室長。

○ 企画観光課長兼プロジェクト推進室長（福地 亮） お答えします。

まず、登記の記日の件につきましては、まずこの応募をする際にですね、新規事業者で応募している経緯になっておりますが、この応募時はまだ任意団体というかですね、独自の団体であるというところでございます。

その応募要項にも新設の場合は、いついつまでに契約からいつまでに、すみません、ちょっと正確なところはないんですが、契約後いつまでに、協定後ですね、協定後いつまでに登記をするようにということが要綱にありますので、それでできるようにはなっておりますので、応募時はまだ法人登記をされてなくても、応募をしてそれが事業が採択されれば、その後、登記がされるという仕組みになっております。

あと、委員長名が黒塗りになっているというところで、なぜかというところなんです、この委員会のものについては非公表となっております。一部を除いてはですね。これまでもそうだったんですが、委員会を公表すると、その委員の皆さんに直接交渉に行かれたりという実績がありましたので、そういったことをなくすように配慮させていただいて黒塗りとさせていただいているものです。以上です。

○ 議長（大城佐一） 7 番 新崎悟一議員。

○ 7 番（新崎悟一） ちょっと問題認識がそこではないんじゃないかと思いますけれども、選考委員会は村から任命され委員に就任しているはずですので、それなりの責務が発生していると思います。委員長名が黒塗りされたのには何か意図があるのではないかと勘ぐられてもしょうがないと思います。

また、申込者に瑕疵がないのか確認をすることが委員会及び委員会事務局の責務であります。どういう理由があれ、登記前に、応募事業者名に株式会社と法人の名前を名乗り、記載し、提出することは、会社法 8 条及び 49 条に明確に違反しています。

同応募事業者が提出した確認及び契約書の 1 に、応募書類に記載している事項に虚偽がないことを確認しているが、法人でないのに名乗っている段階で虚偽であり、その後の選考委員会では応募者として認められないのが、コンプライアンス遵守というものではないのでしょうか。

活用事業者応募要綱（4）には、村の契約解除権及び違約金の項目があるが、虚偽の記載は契約違反であるため、今後どのように対応していき、同項を適用して契約の解除をする必要があると思うのですが、どうお考えでしょうかお伺いします。

○ 議長（大城佐一） 企画観光課長兼プロジェクト推進室長。

○ 企画観光課長兼プロジェクト推進室長（福地 亮） お答えいたします。

こちらとしては、この決定した事項を尊重させていただいて、このサーキュラービレッジとの契約をですね、継続してまいりたいと考えております。

○ 議長（大城佐一） 7 番 新崎悟一議員。

○ 7 番（新崎悟一） 法律違反を犯しているにもかかわらず、それを認めるということですか。

○ 議長（大城佐一） 企画観光課長兼プロジェクト推進室長。

○ 企画観光課長兼プロジェクト推進室長（福地 亮） お答えいたします。

そのあたりはもう少し確認させていただきたいと思います。

○ 議長（大城佐一） 7 番 新崎悟一議員。

○ 7 番（新崎悟一） この契約では、村有地の貸付けであります。村所有のものということは、大宜味村民約3,000人の財産です。行政や首長の所有物ではなく、村民から管理を委任されているだけです。それを任されているのですから、貸し付けるときなど村民のことを思い、厳正に審査をしていただきたい。

また、地方公務員法32条は明確に法令、条例、規則の遵守がうたわれ、行政はこれをねじ曲げてはならないと思います。今後は外部から有識者などを入れたコンプライアンス委員会を設置して、コンプライアンス重視の村政を行っていただきたいと思います。

さて、次のガバナンスについてですが、私が欠如していると思うことは、これもまた多々あり、時間がかかりますので絞ります。添付資料にあるルートインホテル誘致についてですが、先に私の私見として、ホテル誘致に対しては、大宜味村民に不利益がなければ誘致したほうがよいと考えております。村民に不利益があるのであれば、民間地を開発して誘致するほうがよいと考えますが、話を戻してですね、なぜこのホテル誘致とガバナンスが関係があるのか考えていただきたい。

大宜味村議会の議決すべき事件を定める条例第3条には、村長は、基本構想及び基本計画の策定、変更（軽微な変更は除く）、または廃止するときは、議会を経なければならないと明記されております。また、大宜味村第5次総合計画の公有水面埋立計画図にはホテルと全く関係のない計画がある。しかしながら本年7月26日、リゾートホテル建設の会見を行っている。それに先駆け平成30年2月6日には、基本協定書を終結している。

おかしいですね。総合計画変更は議会を経なければならないのに、いきなり着工ということはおかしいとしか考えられない。なぜ、総合計画の計画図を変更する議案を提出してですね、この事業を進め、なかったのかお伺いいたします。

○ 議長（大城佐一） 企画観光課長兼プロジェクト推進室長。

○ 企画観光課長兼プロジェクト推進室長（福地 亮） お答えいたします。

この総合計画ですね、令和3年3月策定の計画になっておりますが、この中の15ページに公有財産の活用による産業の活性化という位置づけがあります。これにおいては、公有財産というところでここを活用してということがありますので、ルートインホテルの用地もですね、その以前からもこういったことがありまして、ここに誘致をするということを決めておりますので、その計画の中で進んでいるものと考えます。

○ 議長（大城佐一） 7 番 新崎悟一議員。

○ 7 番（新崎悟一） この公有水面埋立計画図、これも計画書ですよ。

○ 議長（大城佐一） 企画観光課長兼プロジェクト推進室長。

○ 企画観光課長兼プロジェクト推進室長（福地 亮） 計画図ではありますが、こちらには村民海浜公園であるというところでもありますので、その位置づけのところの産業の活性化を利用させてもらっております。

○ 議長（大城佐一） 7 番 新崎悟一議員。

○ 7 番（新崎悟一） 海浜公園以外にもいろいろな様々な施設の計画はされています。それも変更にあたりますよね。

○ 議長（大城佐一） 企画観光課長兼プロジェクト推進室長。

○ 企画観光課長兼プロジェクト推進室長（福地 亮） お答えします。

公有水面埋立法ともつながりますけれども、こちらは全体計画のものになっておりますが、公有水面埋立法においては、この埋立て完了後からの10年経過ですね、これまで計画されていた計画を、これまで県のほうへの届出等が必要でありましたけれども、その方向が必要がなくなっているということになります。そのあとに我々が今できるもの、村有地を、公有財産を活用してどういうふうにできるかということを検討したものになっておりますので、こちらの公有財産の活性化というところで、全体の中で今回は大型宿泊施設という、この誘致の方向性をこちらで見出したものでの取組となっております。

○ 議長（大城佐一） 7番 新崎悟一議員。

○ 7番（新崎悟一） それならですね、総合基本計画、第5次総合計画の中にですね、それを外して違うものに書き換えている必要があったと思います。平成30年2月から計画変更する時間は十分あったと思います。本年3月定例会では質問に対し、前村長は、令和元年より計画どおりに進んでいないと答弁しています。しかしですね、4か月後に急遽発表している。これこそ首長選挙に向けた実績づくりに急ぎ働きをしていたと思われても仕方ないと思います。なぜ、こんなに急にそういう発表になったのかお伺いします。

○ 議長（大城佐一） 企画観光課長兼プロジェクト推進室長。

○ 企画観光課長兼プロジェクト推進室長（福地 亮） お答えします。

そちらに関しては答え方がちょっと難しいんですが、勘違いじゃないかなとは思いますが。といいますのは、このホテルの誘致については平成29年であったと思います。その2月に協定を締結させていただいて進めるというのは、村民の皆様も、全国的にも知られたかと思います。そのあとですね、進めようとした中で、この令和元年あたりからのコロナの影響が出て、その調整が思わしくいかなかったというところがありましたので、このコロナの状況がある程度方向性が見えてきましたので、そのタイミングで、今後どうしていこうかということでの、前村長が直接ルートインの本社のほうへ交渉に乗り上げたというところで、そこでしっかり進めていくということの事業確認ができましたので、発表というふうになったものです。

○ 議長（大城佐一） 7番 新崎悟一議員。

○ 7番（新崎悟一） 平成29年2月からおっしゃっていましたが、この僕が言っている基本協定書ですね、これは平成30年2月8日に締結されています。また、この協定書内に書かれてある固定資産税の減免及び地代の減免の要望に対し、議会の承認について、議会の承認に向けて必要な措置を取ると書いてあるのにですね、議会の承認も受けていない。なぜですか、お伺いします。

○ 議長（大城佐一） 企画観光課長兼プロジェクト推進室長。

○ 企画観光課長兼プロジェクト推進室長（福地 亮） お答えします。

先ほどの平成29年2月は、平成29年度に訂正をさせていただきたいと思います。平成30年2月になっていると新崎議員のものが正しいのかと思われます。すみません、今資料を持っていないでそういうことになっておりました。あと、この減免の話ですね、その交渉の中でいろいろ条件等の話合いがされました。減免というのは特にないんですが、使用料については幾分か調整する。また、雇用奨励金について、今調整が必要ではないかということで調整をさせていただいて、その条例案を作成して、準備をしているところですので、次の議会あたりに提出できないかということになっております。まだ協定書を交わしているところですので、基本協定書をこれから締結して、あとは契約を持っていくという

ことの事業計画を持っているところです。

○ 議長（大城佐一） 7番 新崎悟一議員。

○ 7番（新崎悟一） 協定書を交わしてやっていくということですが、まず最初に計画の変更を議会に申し出るのが先じゃないんでしょうか。

○ 議長（大城佐一） 企画観光課長兼プロジェクト推進室長。

○ 企画観光課長兼プロジェクト推進室長（福地 亮） 計画の変更は必要と考えておりません。ただ、これからですね、この誘致に当たっての、先ほどの条例の整備とかですね、そういったところについては議会へ提案するということが必要だと思っております。

○ 議長（大城佐一） 7番 新崎悟一議員。

○ 7番（新崎悟一） この法人税などの減免とかはですね、基本的にはできないことになっています。できるときにはある程度の計画、新しいエリア設定だとかそういうのを、すみません、ちょっと忘れたんですけど、そのエリア設定とかを議会で承認した後、減免とかが認められるということに税法上なっていたと思います。なのでどうしても議会を経ないといけないと思います。

このようにですね、議会を経ないといけないことまで村のほうで一方的にやっちゃっていることは、やっぱり私から見たら村民軽視でしかないように思います。私から見て住民軽視した中でですね、決まっているこのホテル建設について、今後どうしていくのかをお伺いします。

○ 議長（大城佐一） 企画観光課長兼プロジェクト推進室長。

○ 企画観光課長兼プロジェクト推進室長（福地 亮） お答えします。

我々が今考えている条例提案の中では、税法上のものはございません。土地の使用料であったり、雇用の奨励に関するもの。ただ、これは平成24年度あたりにありました企業立地促進条例いうもので、時間的なものでありましたけれども、そういうものを今度制定してですね、これまであったものを再度、新たに改定させていただいて、今はもうありませんので、そういったものを制定させていただきたいというところで提案をさせていただきます。

それと、変更については、先ほど公有財産の活用による産業の活性化というところがありますので、こちらで事業を取り組ませていただきたいというところで、このホテルの誘致に関して12月19日であったと思いますが、住民説明会をさせていただく予定になっておりまして、そこでまたいろんな意見もいただきながら進め方、あと、どういうふうな利益が皆さんにあるのかということも含めて話をさせていただきたいというところであります。以上です。

○ 議長（大城佐一） 7番 新崎悟一議員。

○ 7番（新崎悟一） なるべく村民の利益になるんでしたらちゃんと進めていただきたいと思います。

大宜味村の組織図で一番上になるのは村民です。その下に行政を統括する首長。首長と行政を監視するため議会。首長の下が行政です。議会及び首長、村職員は、村民への奉仕者であることを忘れず、今後はガバナンスの徹底を心がけ、住民に軽視していると思われないように、再度ガバナンスとは何かを考える機会を持っていただきたいと思います。

補助金認定についてですが、補助金は産業を振興するために必要不可欠なものであります。産業というのは経済です。経済は流動的に目まぐるしく流れているものであり、資金繰りにはスピードが求められます。補助金認定を行う際にも、認定をもらう側はなるべく早い決定を求めているものですが、行政はなかなか認定を出すのが遅いと感じている事業者が多いのが現状だと思います。もっと認定をスムー

ズに出すような体制は整えられないのか、お伺いいたします。

○ 議長（大城佐一） 財務課長。

○ 財務課長（佐久川紀亮） 新崎議員の御質問にお答えいたします。

村から支払われる補助金については、各課で補助金申請の受付、それから決定等を行っております。各課においても補助金申請が上がってきたものについては速やかになるべく行っているとは思いますが、いま一度ですね、その辺は徹底して早めに決定できるような体制を取らせていただきたいと思います。

○ 議長（大城佐一） 7 番 新崎悟一議員。

○ 7 番（新崎悟一） もう一度ですね、なるべく早く補助金が下りるように各課で頑張ってくださいと思います。

補助金認定後の管理指導についてですが、他自治体のことはよく分かりませんが、大宜味村は補助金の返還という話が多い気がいたします。認定をたやすく出しているのではないのかとても心配になります。

先ほどの大宜味サーキュラー株式会社の応募申請を出したのは、株式会社フードリボンの関係者であり、申請が法に違反していることはさきに述べたとおりであるんですけれども、株式会社フードリボンが9月に大宜味村から補助金に関わる認定書をもらっております。そのような法を犯すような人物がいる法人に重い認定を出して大丈夫なのか。交付後の管理指導は徹底する予定はあるのか、お伺いいたします。

○ 議長（大城佐一） 企画観光課長兼プロジェクト推進室長。

○ 企画観光課長兼プロジェクト推進室長（福地 亮） お答えします。

この先ほど特定事業推進費の話もありましたけれども、その中で認定を出させていただいております。こちらについては問題ないと考えております。また、今後もこの事業者と一緒に村の利益が上げられるよう、事業と一緒に推進してまいりたいと思います。

○ 議長（大城佐一） 7 番 新崎悟一議員。

○ 7 番（新崎悟一） 法を犯す組織、法人というのはひとつの法の下の人であって、それを運用しているのが組織の人間となります。その人間に法を遵守する気持ちがない人がいるとですね、その組織というのは必ず駄目になります。それで私は先ほどからガバナンスの強化だとか、コンプライアンスという話をしています。

その中で、このフードリボンの関係者が申請に適さない名前で提出している。そこを問題にしているのであって、そういう法を考えない人が従業員としていところ、17億円でしたか、さっき話をしていたのが。17億円の認定事業に対して8割の補助という話でした。それを出すというのはどうしても納得……、理解ができない。その辺はどうお考えなのでしょう。

○ 議長（大城佐一） 企画観光課長兼プロジェクト推進室長。

○ 企画観光課長兼プロジェクト推進室長（福地 亮） このフードリボンが法を犯しているという認識ではございません。

○ 議長（大城佐一） 7 番 新崎悟一議員。

○ 7 番（新崎悟一） フードリボンが法を犯しているのではなくて、フードリボンの構成員が、フードリボンの社長なのか何か分からないですけど、フードリボンの役員もしくは社員の方が法を犯しているんじゃないですかという話をしています。

- 議長（大城佐一） 企画観光課長兼プロジェクト推進室長。
- 企画観光課長兼プロジェクト推進室長（福地 亮） お答えいたします。
その件についても、ないものと認識しております。
- 議長（大城佐一） 7 番 新崎悟一議員。
- 7 番（新崎悟一） このないものという認識は、どういう認識ですか。
- 議長（大城佐一） 企画観光課長兼プロジェクト推進室長。
- 企画観光課長兼プロジェクト推進室長（福地 亮） お答えいたします。

この長寿と癒しの森の整備エリアの事業についての公募をして、応募があったときにですね、我々は警察のほうに照会をかけております。これは暴対法の照会でもありますけれども、その暴対法の紹介では、新崎議員が村長室にいられて話をしたときにですね、我々ももう一度確認をしようということで警察のほうに確認をさせていただきました。その暴対法でのものについても、ほかの犯罪歴、あと関係のものについても、これは全て犯罪の関係がないということの回答になりますということをいただいております。

そういったもので、その関係者については、犯罪とかそういった法を犯すものと関係ないということの認識を我々はしております。

- 議長（大城佐一） 7 番 新崎悟一議員。
- 7 番（新崎悟一） 今、私が法を犯していると言ったのは、先ほどのまだ登記もされてない前にですね、申請書に株式会社と名乗っていると。そこを私は法律違反していますよということを指摘しています。だから今おっしゃったことは、ちょっとずれているのかなと思いますけれども、確かに暴対法では引っかからなかったかもしれないですけども。そういう暴対法に引っかかるような会社とはそもそも付き合ったら駄目なので、それを確認するということだけですね。

とりあえずですね、今後は適正に審査を行ってスムーズに補助金が交付されるようになること。また、多くの村民、村事業者に優先して補助金などが交付され、本村の地域や産業が振興されていくことを切に願い、質問を終了いたします。ありがとうございます。

- 議長（大城佐一） 以上で7 番 新崎悟一議員の一般質問を終わります。

- 議長（大城佐一） 休憩します。

（午前 11 時 58 分）

- 議長（大城佐一） 休憩前に引き続き会議を開きます。

（午後 1 時 30 分）

◇ 大 山 美佐子 議員

- 議長（大城佐一） 次に4 番 大山美佐子議員の一般質問を許可します。4 番 大山美佐子議員。
- 4 番（大山美佐子） 1. コミュニティバスの実現について。

平成30年12月議会の一般質問で、コミュニティバスの導入についてとりあげました。住民と会話をし、アンケートをとりました。江洲地区の住民が土地を求め、農業に夢をいだき、楽しく過ごしていましたが、高齢になり、免許を返納し、生活の不便さをしみじみ感じ、那覇へ戻るしかないのかと考えていま

した。あれからしばらくして尋ねると、2～3件の方が都会へ戻ったことを知り、心が痛みました。国頭村、東村、名護市でもコミュニティバスを導入しているのに、なぜ、我が村ではコミュニティバスの導入が早くできなかったのか、私自身も悔やみました。

私は今回の選挙でコミュニティバスの実現をと訴え、聞き取りをしながらアンケートを実施しました。200筆あまりの署名も集めました。ここにあります。村長に手渡したいと思います。要求といたしましては、江洲地域や塩屋湾内、田嘉里、謝名城の住民の声が多かったです。コミュニティバスの実現に向け、村長の考えを伺います。

○ 議長（大城佐一） 村長。

（友寄景善村長 登壇）

○ 村長（友寄景善） お答えします。

この件に関しましては、議員から何度か質問をいただいております。去る6月定例会においても質問を受けております。議員がコミュニティバスの導入実現に向けて、アンケートや200筆の署名を集めたということについては敬意を表したいと思います。

コミュニティバスについては、現在行われている障がい者移動支援・高齢者安心カー・買い物支援事業の拡充が望ましいのか、社会福祉協議会とも調整をしていきたいと考えております。

○ 議長（大城佐一） 4番 大山美佐子議員。

○ 4番（大山美佐子） コミュニティバスについては、3回ぐらい質問をしました。最初の質問では、江洲地区、押川地区の山間部から国道へつなぐバスについては検討する必要がある。福祉課での外出支援事業も社協に委託しているが、それ以上にふくらむ場合はコミュニティバスも進めていく。また誰もが気兼ねなく乗れるコミュニティバスが必要であれば、スクールバスの利用などはできないのかとの問いに活用している事例もあるとのこと。公共交通は村でも大切な手段で、村はそのあたりも踏まえ検討したいとの答弁でした。デマンド型交通、利用者の事前予約に応じる運行経路やステージに合わせた実態に沿うような形で対応したいと期待のできる答弁ばかりでした。当時の課長たちの話ではできないことではないと言っていました。いま一度、実施するかしないか再度伺います。

○ 議長（大城佐一） 総務課長。

○ 総務課長（宮城 豊） お答えいたします。

以前の3回の答弁の、私の担当課ではなくて前任の方の担当課長も含めてからの答弁のことを言っていたと思うんですが、実際に検討というか、それもやっております。実は今日も総合事務局のほうとも電話で話をしたり、あと社会福祉協会の事務局長とも今議員提案のコミュニティバスに関して、拡充という点でどう考えるかということで、即答はできませんでしたが、実際に対面をして、どういう流れでやっていったほうがいいのか、それもまだ検討段階ではあるんですけど、前向きにやっているとこのことは議員のほうに納得していただきたいなという部分があります。先ほど社会福祉協議会の有償運送の話もあったんですが、企画観光課のほうで移住定住の集落支援員がいるんですが、そのほうでも実際にアンケート等を取ってやったら、やはり告知の部分も必要であるという部分と、あと今、若い方でも将来は免許証を返納したとき、やはり心配であると。だからそこは将来的には必要になってくるんじゃないかというアンケートの結果も得られております。企画観光課のほうの考え方としても、観光につながるようなところで観光協会とのタイアップもできないかどうかということも併せて検討して、一辺倒でやるんじゃなくて、そこを複合型にしてできないのかどうかというのは改めて詰めてやってい

きたいと考えております。ただ、今実際に事業ができないかどうかということは、今進めるように仕事はしております。以上です。

○ 議長（大城佐一） 4番 大山美佐子議員。

○ 4番（大山美佐子） コミュニティバスがないというのは人口減にもなります。今、私よりちょっと先輩の方が都会からうちの村にも5名ぐらい、謝名城にも2人ぐらい引き上げてきています。都会では電車での生活が中心で乗り物の不便さは全然感じていなかったそうです。今やんばるに住んでいて、車の不便さを感じ、免許を取っていればよかったと後悔しているとの、もう少し若ければ自練にも通えたのにと話している人もいました。

先ほど総務課長がおっしゃったように、若い人たちの声も大分聞こえます。その方々が本土から来た人たち、ちょっとあっちこっち歩くの好きで、ビジターセンターへ行ったら目立つところへ東村のコミュニティバス停があり、そこへ村のコミュニティバスが止まれば自分たちもビジターセンターへ行けるのにと考えたということ。喜如嘉、謝名城の女性たちの声なんですけれども、戻ってきた方ですね、ビジターセンターへはやっぱりたまには行きたいと思っていても、なかなか人をお願いしてまでは行けないという声が聞こえました。また、高齢者になり免許を返納し、都会へ戻った人々も実際にいます。

コミュニティバスの必要性は田嘉里出身の村長に立候補した人も公約に上げていました。村民に浸透するには時間はかかると思いますが、定例化していくと利用者も増えることと思います。まずやってみるということも必要だと思います。一日も早い実現を強く訴え、私は最初は導入、今度は実現ということで、強く訴え質問を終わります。

○ 議長（大城佐一） 以上で4番 大山美佐子議員の一般質問を終わります。

◇ 宮 城 良 治 議員

○ 議長（大城佐一） 次に2番 宮城良治議員の一般質問を許可します。2番 宮城良治議員。

○ 2番（宮城良治） それでは一般質問に入りたいと思います。

村長選挙の公約について。

①公約に掲げた学校給食費の無償化や、出産一時金の一律10万円支給など子育て支援をどのように進めるのか伺う。

②村民の声を村長が直接聞く日を設けるとあるがいつから設けるのか伺う。

③老人ホーム、介護施設等の増設とあるがどのように行うのか伺う。

次に村長の政治姿勢について。

①新聞記事で「養殖エビ訴訟について判決を待つのではなく業者側と話し合っ解決策を模索したい。」という記事がありましたが業者側と話をしたのか伺う。

②新聞記事で「議会は前村長を支持する議員が多い構成になる。時間がかかっても対話を欠かさず、自身の考えを丁寧に伝える。公平公正で村民に信頼されるようなガラス張りの村政運営をしたい。」という記事がありましたが、村長就任2か月になりますが実行できていますか。

③その他新聞記事のご自身のコメントに訂正箇所はないか伺う。

次に国立自然史博物館誘致について。

11月30日、県内での気運を高めることを目的に国立沖縄自然史博物館誘致シンポジウムが開催され500名以上の参加者があり、本村からも担当課をはじめ議員数名と住民、全体で20名ほどが参加しまし

た。現在、誘致に向けて積極的に動いている自治体もありますが、本村も立地や条件が整っているため誘致に向けて積極的に取り組めないか伺います。

○ 議長（大城佐一） 村長。

（友寄景善村長 登壇）

○ 村長（友寄景善） お答えします。

①についてお答えします。学校給食費は段階的に無償化を図ってまいりたいと思います。出産一時金は、第一子から10万円を支給する等、保護者の経済的負担を少しでも軽減してまいりたいと思います。

②につきましては、次年度から設けたいと思います。

③につきましては、村民から切実な要望があり、関係機関や団体と連携して推進してまいりたいと思います。

次に村長の政治姿勢について。

①についてお答えします。業者側と話し合いはしておりません。

②についてお答えします。就任してまだ2か月しか経っておりませんが、日々努力をいたしております。今後も対話を欠かさず尽力してまいりたいと思います。

③についてお答えします。当選直後のインタビュー記事であり、当時の考えや気持ちを表明したものであり、訂正する箇所はないものと考えております。

次に国立自然史博物館誘致についてです。

去る11月30日に那覇で開催されましたシンポジウムには庁内会議のため参加はできませんでしたが、世界自然遺産地域であること、また、杣山地区の広大な村有地が存在することなど、村の環境は国立自然史博物館の立地の可能性を十分に持っているものと考えております。

誘致については、県の指導も仰ぎながら積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

○ 議長（大城佐一） 2番 宮城良治議員。

○ 2番（宮城良治） 学校給食費を段階的に無償化を図っていくということでありましたが、出産一時金の第1子から10万円支給というのは、次年度から始める予定ですか。まずこれからお聞きします。

○ 議長（大城佐一） 村長。

○ 村長（友寄景善） 学校給食費は一気にやると財政的に難しいと思います。現在、物価高騰によって給食の費用もかなり高くなっていて、給食費だけでは賄えない状況で、今は政策的な支援で対応しておりますが、本来ですと、給食費を引き上げなければならない財政状況であります。次年度それを据え置いて対応してまいりたいと思いますので、段階的に取り組んでまいりたいと思います。

出産一時金については、国も出産一時金を50万円にしたということでありまして、やはり多額の費用がかかりますので、可能な限り第1子から10万円にするよう、財政と調整しながら取り組んでまいりたいと思います。

○ 議長（大城佐一） 2番 宮城良治議員。

○ 2番（宮城良治） まずですね、国がやる祝い金は、祝い金ではなくて出産準備金なんですよ。それと今回村長が掲げている政策とは全く別の話だと思っております。

この政策の中で、小学校給食の無償化というのと、出産祝い金第1子から10万円ということは、これはこの政策の中で目玉政策だと僕は思っているんですよ。なので、段階的に引き上げるとかではなくてですね、これは御自身の政策なので、やるということを選挙でうたっているんで、その辺はやってもら

わないと、村民に対しての裏切り行為だと思っております。

次に②については、次年度から設けたいという話ですのでそれでいいと思います。

③につきまして、これもですね、この政策の中には高齢者、生活弱者に優しい村、老人ホーム、介護施設等の増設というのが書かれているんですよ。なので僕が思ったのは、村立の老人ホームとかそういう介護施設を造るのかな、社協などを大きくしてそういう施設に持っていくのかなと思っていたんですけど、これは今の話を聞くと、関係機関や団体ということは、それはどこを指していますか。

○ 議長（大城佐一） 村長。

○ 村長（友寄景善） 出産一時金等につきましてもですね、任期中にはぜひやりたい。できるだけ早めにやりたい。そこは先ほどから申し上げています財政と相談しながら、公約実現のために一つ一つ努力して取り組んでまいりたいと思います。

福祉施設について、関係機関とですが、今、介護保険連合組合ですか。今第8次の計画だと思いますが、この計画の中に村の意向も要求して、次の第9次計画に盛り込まれたら盛り込んで、村の計画としてまた整備するときには民間の事業者等にもお願いして、福祉施設の増設を図ってまいりたいと、そういう気持ちでございます。

○ 議長（大城佐一） 2番 宮城良治議員。

○ 2番（宮城良治） それではこの介護施設の増設、関係機関、団体ということで、僕の中で頭に浮かぶのが一心福社会とか、あとは山川さんの施設なのかなと思いますけれども、そこでもし増設とかそういうのを、この法人が希望してる場合に補助金なり、そういう手助けは村のほうやるということですか。

○ 議長（大城佐一） 村長。

○ 村長（友寄景善） もし、この工事の計画にある場合には、本来でしたら民間事業者のほうで事業を進めるわけではありますが、村からの補助制度、補助できるような仕組みもあると思いますので、そのような場合には仕組みも活用しながら推進してまいりたいと考えております。

○ 議長（大城佐一） 2番 宮城良治議員。

○ 2番（宮城良治） すみません、①に戻りますけど、ちょっと確認するのを忘れてですね。もし、この学校給食費の無償化、出産一時金の10万円支給となったときに、それぞれ幾らぐらいの予算が必要になるのか、その辺分かりますか。分かれば教えてください。

○ 議長（大城佐一） 村長。

○ 村長（友寄景善） 出産一時金は、大体150万円ぐらいの増額になるのかなと。現在、第1子が5万円ですから、それに5万円上乗せすると。第2子は7万円のところ10万円。そして年間の村の出生数が大体20人から25人ぐらいじゃないかと思っております、あくまでも即答ですが、150万円ぐらいの予算増額になるのではないかと思います、給食費の増額については数字を正確に把握しておりません。もし、教育課長のほうで分かれば、そこで答弁できますか。

○ 議長（大城佐一） 休憩します。

（午後 1時52分）

○ 議長（大城佐一） 再開します。

（午後 1時53分）

○ 議長（大城佐一） 村長。

○ 村長（友寄景善） 給食費ですね、全体で年間見込みですが、1,352万100円を見込んでおります。

○ 議長（大城佐一） 2番 宮城良治議員。

○ 2番（宮城良治） 村長、これをやりたいと選挙のときに言っていますので、ぜひやっていただきたいんです。そのときにですよ、去年3月の、多分国頭村の議会の中で医療費の県が負担する分は、中学校まで県が2分の1でしたか、負担することになっていますよね。その浮いたお金を給食費に国頭村は回していると思いますけれども。そういう感じで子供たちのために使っていた予算がそこで浮いていますので、その予算を給食費に、無償化にはならないと思いますけど、その辺を持ってくるのが可能じゃないのかなと思いますけど、その辺はどうですか。

○ 議長（大城佐一） 村長。

○ 村長（友寄景善） できるだけ無償化にするために、様々な予算を節減して無償化に対応していきたいと思いますし、県のほうも無償化に向けた動きがありますので、県の動向も見ながら子育て世帯の経済的負担を軽減する意味で早めに無償化にしていきたいと思います、そのように考えております。

○ 議長（大城佐一） 2番 宮城良治議員。

○ 2番（宮城良治） それでは、村長の政治姿勢についてお聞きします。

①に関してはですね、先ほど議員からもありましたので、その辺は割愛させていただきます。

②についてですけれども、この新聞記事の中でですね、先ほども言いましたけれども、村議会への対応について、村長は村づくりの考えを丁寧に説明し、協力体制を構築したいと言っています。

しかし、まだそのような行動が我々議員に対して全く見られない状況ということで、今そのような状況の中で12月定例議会で副村長の選任についての同意案件が出されています。否決される可能性がとても大きい中で、この同意案件をなぜ出したのか、その辺をお聞かせください。

○ 議長（大城佐一） 村長。

○ 村長（友寄景善） 今、副村長が不在ということで、今職務を執行するために副村長がいないということで、大きな業務の停滞を来しておりますし、次年度に向けても国頭郡の体育協会の事務局が大宜味村に回ってくることが確実視されておりますし、裁判での対応などもちゃんとしていかなければいけない。それと各種審議会、委員会にも副村長が委員長としてやっておりますので、業務を着実に遂行するためには、早めに副村長を決定して業務を進めていかなければならないという思いと、そして村職員も、課長の方々も大変な苦勞といたしますが、難儀をされておりますので、副村長を早めに決定して課長等との関係もしっかりして業務を着実に進めてまいりたいと、そういう思いで今議会に提案させてもっております。

○ 議長（大城佐一） 2番 宮城良治議員。

○ 2番（宮城良治） 副村長は僕も必要だと思っております。しかしですよ、これまで村長が議員時代ですね、副村長案件、教育長案件、両方反対討論をしていますよね。自分が村長になったときは早めに副村長を決めたい。これはやっぱり、これでは通らないんじゃないかなと僕は思っております。本当に丁寧な説明を我々はまだ受けていませんので、しっかりしていただきたいと思います。ましてや、議長にも相談がなかったということで伺っておりますので、元議員でありながら完全に議会を軽視しているのかなと思い、非常に残念に思っております。

またですね、12月9日の所信表明の中で、村全体が輝けるようなバランスの取れた村政を進めてまいりますと言っております。副村長も同じ大宜味住区からではバランスが悪くないですか。

そして、新聞記事の中で、もちろん反対する人はいる。納得は得られなくても理解を得る努力が必要であるということも言っています。議会に対し、理解を得る努力はまだ一度もされていません。村長就任2か月で言っていることと、やっていることが違うことが多すぎます。

③について、その他の新聞記事の御自身のコメントの訂正はないかについてですが、ここでも所信表明の中で、「命どう宝、人権擁護を肝に銘じ」と言っているが、この新聞記事の中で、訴訟先を、村から前村長個人に変えてもらうことも視野に入れているという記事がありました。今後ですね、事業や何らかの理由で村に不利益があった場合、個人に責任を押しつけるような村政運営を行っていこうとしているのではないかとちょっと思いました。これでは職員が萎縮してしまうと思いますので、その辺の考えを改善していただきたいと思います。

次にですね、国立自然史博物館誘致について。国立自然史博物館を誘致することができれば、アジア全体の自然史科学の研究を200名から300名の研究者が常駐し、行います。また、人材育成の拠点や観光など幅広い分野で様々な波及効果があると期待されております。総工費500億円、年間維持費で30億円と大きな経済効果があり、維持管理を行うための新たな産業が生まれます。また雇用も生まれます。

設立準備委員会として、2032年、10年後に復帰60周年記念事業として国立沖縄自然史植物館の開館を目指しているようです。このような大きなプロジェクトをぜひ大宜味村に誘致するべきだと思っております。

まずは、村内での機運を高めるため、ビジターセンターの誘致やそのほかの公共施設に懸垂幕やのぼりの設置はできないか伺います。先ほど課長には渡したんですけど。

○ 議長（大城佐一） 企画観光課長兼プロジェクト推進室長。

○ 企画観光課長兼プロジェクト推進室長（福地 亮） 宮城議員へお答えいたします。

先ほど頂いておりますが、こののぼりについては「沖縄」という言葉が先に来ておりまして、取組自体は一緒になって進めていきたいと思いますということで以前から連携をさせてもらっていますので、のぼりの中身については、のぼりや懸垂幕ですね、沖縄県という表示が先に来ているものを、我々がやっていかどうかをまず確認させていただいて、それから予算関係も調整させていただいて、積極的に取り組ませていただきたいと思いますと思っております。

○ 議長（大城佐一） 2番 宮城良治議員。

○ 2番（宮城良治） ありがとうございます。ぜひ検討していただきたいと思っています。例えばですね、こののぼりを立てるところとかというのは、公共施設もそうなんですけれども、これに関して協力してもいいと言っただけの企業というのも結構いると思いますので、その辺、会社の前にですね、民間企業を活用しながら、村と民間企業で村内の機運を高める取組ができたら面白いのかなと思っておりますので、検討よろしくをお願いします。以上です。

○ 議長（大城佐一） 以上で2番 宮城良治議員の一般質問を終わります。

◇ 平 良 嗣 男 議員

○ 議長（大城佐一） 次に9番 平良嗣男議員の一般質問を許可します。9番 平良嗣男議員。

○ 9番（平良嗣男） それでは一般質問をさせていただきますが、執行部のほうには事前に通告を出

しておりますので、私は簡潔に答弁を求めたい。そして私もできれば10分から15分で終わりたい。中身によっては長くなる可能性もありますが、簡潔に答弁を願いたいと思います。

それでは1. シークワーサー買取価格についてお伺いをいたしたいと思います。

①友寄景善村長は、去った9月の村長・村議選挙において、「本村の特産であるシークワーサー価格を150円に引き上げ、経営基盤の安定と後継者育成を図る」等、諸々の施策を掲げて選挙戦に臨み、村長に当選しましたが、今年のシークワーサージュース用も12月15日ともう間もなく終了する中において、予定より雨が多く降り20日まで延ばしている状況であります。その150円の価格を今期の取扱分より対象として行うのか、お伺いをいたしたいと思います。

そして2点目に肥料、飼料価格高騰対策に関する本村の支援策についてお伺いをいたしたいと思います。

①昨今の農業を取り巻く情勢は、ロシアのウクライナ侵攻や円安の影響で原油価格の高騰が続いている。輸入等に起因した穀物や肥料原料等の値上がりにより、肥料価格や飼料価格が急激に高騰している。生産農家ではコスト削減等の取り組みを鋭意努力しているところであるが、現在の価格高騰は既に農家の自助努力の限界を超え、生産農家の経営が圧迫され、危機的状況に追い込まれております。本村においても、すでに要請をしているところである。

現在、本村の農家に対する助成として年間300万円を上限として肥料の20%助成を実行しているところではあるが、本村の厳しい財政状況は十分理解は出来るものの、昨今の厳しい農業情勢を鑑みると、村としても本村の農業を守り発展させる上から、今以上の農家支援策を打ち出し、村独自の対策を講ずるべきと思慮するが、村長としてどのような考えを持っているかお伺いしたいと思います。

○ 議長（大城佐一） 村長。

（友寄景善村長 登壇）

○ 村長（友寄景善） お答えします。

シークワーサーの買取価格についてですが、現在は大宜味村シークワーサー振興補助金を活用して申請のあった農家に対し、生産奨励金を交付して農家の手取り価格の上乗せを行っております。令和4年度の生産奨励金の予算額は150万円となっており、150円を今期から取り扱い分の対象をすることは厳しい状況であります。

2点目の件ですが、肥料価格としては、大宜味村農業振興補助金交付規程で、購入の20%を助成しており、令和4年度予算の助成金は年額300万円で支援しています。それ以外に農家の支援対策を検討してまいります。飼料については、現在村からの支援策はありませんが、飼料価格の高騰により影響を受けた畜産農家に対して、支援が出来るように調整して行きたいと考えております。

○ 議長（大城佐一） 9番 平良嗣男議員。

○ 9番（平良嗣男） 先ほど今期から該当しないと、来期からというような考えを持っているようであるが、しかし村長の公約の中で、農家はこの150円という価格に期待をして、あなたに投票した人もたくさんおるだろうと本員思っています。例えば、今J Aが取り扱っている金額はキロ140円。今期J Aが扱っているシークワーサーの数量は1,110トン。この1,110トンは今140円で買い取っているんですが、村長が150円にするということは、この10円を上乗せして買い取らないといけない。しかしながら、村長のうたっている150円というのは、どのようにしていくのか全く見えない。これはどのようにしてやるのかというのが全く見えない。これは今、10円を上乗せすると1,510万円ほどかかる。J Aが取り

扱っている分だけ。そして他の業者、これを入れると2,000トン、他の業者は150円から160円かかっているところもあるでしょう。そこら辺は調査してやれば分かるんですが、単純に言うと2,000万円ほどかかるんですね、10円上乗せすると。その財源はどうするのか。そこら辺が全く見えない。上げるということは農家に対しては大変うれしいこと。先ほど、次の2点目と関連するんですが、本当に農家は期待をしている。

そういう中で、今期からじゃなく来期からということであるんですが、実際に来期からにするにしても、この価格を村が買取りする。そのものを村が買取りするのか、そういうところが全く見えない。150円にするというんだが、そのもの自体、その品物自体を村が買い取りするのか。買い取りして、今沖縄県の消費推進協議会、そこに今7社がある。これをJ Aが主体になって7社に配分しているんですね。そういうふうなことを村がやるのかな。そこまでおかしいことをするのかと思ったんだが、実際、買取価格を150円にするのは、大変何度も言うがいいことである。だけどどのようにして、この金をどこにやるのか。こういうことが全く見えない。そしてその財源をどうするのかというようなこと。そこら辺をお伺いしたい。

○ 議長（大城佐一） 村長。

○ 村長（友寄景善） 150円の買取価格の件ですが、これについてJ AはJ Aで、従来どおりの方法で農家には140円で買い取って、村としては、村内に住所を有する農家が、今期、例えば出荷伝票や税の申告がありますので、税の申告書に記載されている生産量、これを役場のほうに申請して、役場はこれを基にキロ当たり10円の奨励金を出すということで、J Aに限らず他の事業所に出荷している農家についても税の申告書で確認して10円を奨励金として支払う。そのような方法を考えております。

財源についてですが、ふるさと納税をするときに産業の振興に使ってほしいというところがありまして、僕がちょっと知るところで3,000万円以上は産業の振興に使ってほしいというところがありますので、いろいろ今産業の振興に使われているんですが、これを活用してシークワサーの振興に充てられないものか、そういうことを今検討しております。

○ 議長（大城佐一） 9番 平良嗣男議員。

○ 9番（平良嗣男） 先ほど、恐らくJ Aから、または他の業者からの実績報告、個人はそれなりの証明書をもらって、それなりに行政に申請するだろうということは分かっておりました。これをもってこの10円というものを上乗せして支払うということなのかどうか。例えば150円で買っている、他業者から、業者に出している皆さん方、150円、160円で買い取っているところもある。そこに対象のプラスアルファ10円をやるのかどうか。そこら辺はちょっとどうかと私は思っておりますが、どうなのかというに思っております。そこら辺はどうですか。

○ 議長（大城佐一） 村長。

○ 村長（友寄景善） 現在J Aが140円、他の業者が160円で取っているということも聞いておりますが、他の業者というのは、やはり原料確保を確実にするという観点から、ちょっと高めの価格設定で原料確保に努めていると思います。仮にJ Aのほうに150円にすると、そして他の業者が160円になりますといったら、そこら辺の違いはあんまり出てこないの、そうすると民間の業者、他の業者もですね、原料の確保が厳しいところが出てくる可能性もありますので、そこが他の業者、J A以外の業者についても10円アップの奨励金を出していきたいと、そのように考えております。

○ 議長（大城佐一） 9番 平良嗣男議員。

○ 9 番（平良嗣男） 今、他の業者というのは大体分かるんですが、先ほど私が申し上げた沖縄県の消費推進協議会に加入している業者、そこを J A が窓口にしてみんな各パッカーに、業者に配分しているんですね、トン数を。そこをやっている。しかしながら、今言っているのも大体分かりますよ。そういう業者にも10円をプラスアルファしてやるというふうなことであれば、私はどうかなと思っているんですね。そこら辺は、じゃあ J A に出している皆さん方は150円。そして、そこを負担しているのは、J A とパッカーなんですよ。じゃあそこにも出すんですかということ。これは大宜味村農家がそこを、J A を通したやり方でみんな出しているんですよ。村民ですよ、村民。村民が出している。そこに対してもやるかということです。ちょっと考えが違うかも分かんが、そういうところも出てくるんですよ。そこら辺、他のパッカーにも10円でやってというのはちょっとどうかなと思っています。

いずれにしても、シークワサー価格を上げるということは大いに結構。そういうことで農家の育成を図ってもらいたいというのは重々分かっております。そこら辺を財源があれば、その財源に基づいた値段を上げてやるということは農家に意欲を与える。生産力もプラスすることができる。そういうことで大いに結構だが、今後ともシークワサー価格について、今後もっと検証して私は次に申し上げますが、この150円は、再度お伺いしますが、来期から対象にしてやるということなのか、または先ほど言った、農家の、J A でしたら J A からの出荷証明書。1人当たりの出荷証明書が出ますからこれに基づいて申告します。それに基づいた金額を来期からするのかどうか。そこら辺を再度お伺いしたい。

○ 議長（大城佐一） 村長。

○ 村長（友寄景善） 150円ということは先ほど答弁しましたように、来期から実施してやりたい。それと10円アップというのは150円というのは、要するに現行に10円アップですので、J A の出荷証明、これに基づいて、キロ10円掛けてそれを奨励金という形で支払いたいとそういうことです。

○ 議長（大城佐一） 9 番 平良嗣男議員。

○ 9 番（平良嗣男） それではシークワサーの件は、いろいろ言いたいのはあるんですが、これで終わりたいと思います。

2 番目の肥料、飼料価格高騰対策に関する本村の支援策についてお伺いしたいと思いますが、今、村行政から大変厳しい状況のある財政状況の中で、これまでずっと20%というこの助成を行っております。その中で、今、実質ミカン 1 号で申しますと、20キロで普通価格が3,508円。これが村の20%補助があるために、予約価格が2,789円ということで大変農家は喜んでいるところであります。

これだけじゃなくて、私は、今、農業の育成を図る中において、こういう時代でどのような対応をするか。村の対応として。昔は除草剤も補助があったが、除草剤というのは土地を荒らすからということで廃止になった経緯がある。しかし農薬というのは、シークワサー等いろいろな問題においても、いろんな虫がある。その中でどうしても農薬を使わなければいけない。そういうものにおいても助成できるのかどうか。そこら辺をお伺いしたい。

○ 議長（大城佐一） 村長。

○ 村長（友寄景善） 肥料については、昨今のコロナの影響で価格が大分高騰しておりますので、現在の20%を超えるような形での補助も考えております。

そして農薬については、農家さんからの要望等があれば、それも前向きに検討してまいりたいと思います。

○ 議長（大城佐一） 9 番 平良嗣男議員。

○ 9 番（平良嗣男） 今ですね、ちょっと参考までに申し上げますが、今、行政が、村が肥料等の補助20%、J Aと太陽の花にやっているんですね。太陽の花が今幾ら年間使っているかと。あれですよ、太陽の花は年間に20万円しか使っていない。なお、だんだん下がってくる太陽の花は。なぜか。農家の減少、太陽の皆さん方は。そういう中で減ってきているんですね、太陽の花はね。しかし、我が大宜味村におけるJ Aを使っている農家というのはそうじゃない。今、若い皆さん方が大変意欲を持って頑張っている。

そして今回、皆さん方が上げている議案の土地改良区の件があります。これとも関係するんですね。そういう農家の皆さん、若い皆さん方は今どのようにして努力して頑張っているかと。この皆さん方は、農家所得の向上、そして大宜味村のブランド化、例えば野菜、今野菜、彼らが作っているゴーヤーなど、ものすごいいい値段している、彼らのものは。そしてスイカだろうと他の野菜だろうと、大宜味村ブランド化を目指して今やっている。そういうふうな中で、ほかの土地改良区の件も出ておりますが、これも大変いいことである。

それで補助金というのは、私はあまりにも、この補助金を企んで、補助金目当てでやるということは、あまり好ましくないというふうに思っております。なぜかといいますと、一つ例を挙げます。私がJ Aの貸付け担当の場合に、我が大宜味村は畜産の振興、マンゴー園の拡大、振興ということでやってきました。そういう中で、畜産農家、公庫資金の借入れ、農協の借入れ、他の金融機関の借入れ、そういう中で自分の資産の何倍という借入れをして、あとは倒産した。リスクが膨らんで財産では間に合わない。土地も売らず、家も売らず、そういうことをやってきました。そういう中で間に合わない。あまりにも補助金というのは、やはりその事業において、ちゃんとやらなきゃいけないけれども、その人も見ないといけない。だけど補助金の申請というのは赤字になるような申請は誰もやりませんよ。ちゃんとプラスになるような申請じゃないとやらん。だけど大いに補助金を与えるのもいいでしょう。そこら辺は行政は見極めて、今後十分農家育成のためにちゃんとやっていただきたい。

そういうことで、私5分で終わるつもりがそうなっておりますので、大変申し訳ないんだが、今後、行政がいろんな面においても、ひとつ村長が掲げた公約がありますでしょう。そこら辺を十分に実行できるように。また、村民を裏切らないようにそういうことをちゃんとやってもらいたい。そういうことで私の一般質問を終わります。答弁があれば、どうぞお願いします。

○ 議長（大城佐一） 産業振興課長兼農業委員会事務局長。

○ 産業振興課長兼農業委員会事務局長（大嶺 実） 本来でしたら答弁は終わりなんですけど、一言言わせてください。

まず答弁する前に一言あります。5年間お世話になりました。

まず、肥料の問題は平良議員がおっしゃるように農家は大変苦勞している。産業振興課長としても重々私は痛感しております。

そして先ほど土地改良事業の件もあったように、今大宜味村の農家は、高齢者が増えて、若者が少ないところもありますけれども、最近はですね、若い農家の方が増えております。例えば大工又地区の土地改良の農家さんは、若い人が農家になっております。そういった農家の苦勞も考えてですね、やっぱり、肥料は今補助金300万円の20%補助でありますけども、飼料、畜産ですね、豚、牛、鶏の餌代には補助金がありません。

ただ、補助金ではなくて、国の補助事業というのがあります。今、私からすると臨時交付金というの

があつて、それを活用すると100%の補助金がもらえるんですね、飼料肥料。それをまずはできるかできないかは、まず僕は、年明けて1月、2月、3月、応募があればこの臨時交付金を活用して、飼料、肥料の100%の国からの支援ができないか、前向きに検討して農家を支えたいという思いがあります。これで終わります。

○ 議長（大城佐一） 以上で9番 平良嗣男議員の一般質問を終わります。

これで一般質問を終わります。

◎散会の宣告

○ 議長（大城佐一） 以上で本日の日程は、全部終了しました。

本日は、これで散会します。

お疲れさまでした。

（午後 2時29分）

令和4年第10回大宜味村議会定例会会議録

(第3号) 令和4年12月13日

1. 開議、散会の日時

開 議 (令和4年12月13日 午前10時00分)

散 会 (令和4年12月13日 午前10時13分)

2. 出席議員 (10名)

1 番議員 宮 城 貢

2 番議員 宮 城 良 治

3 番議員 大 城 邦 彦

4 番議員 大 山 美佐子

5 番議員 宮 城 美和子

6 番議員 前 田 孝

7 番議員 新 崎 悟 一

8 番議員 吉 浜 寛

9 番議員 平 良 嗣 男

10 番議員 大 城 佐 一

3. 欠席議員 (0名)

な し

4. 地方自治法第121条の規定により説明のため議場に出席した者の職・氏名は次のとおりである。

村 長 友 寄 景 善 教 育 長 米 須 邦 雄

総 務 課 長 宮 城 豊 教 育 課 長 真喜志 亮

財 務 課 長 佐久川 紀 亮 農 業 委 員 会 事 務 局 長 大 嶺 実

住 民 福 祉 課 長 宮 城 敦 監 査 事 務 局 長 新 城 寛

企 画 観 光 課 長 兼
プ ロ ジ ェ ク ト 推 進 室 長 福 地 亮 選 挙 管 理 委 員 会 書 記 長 宮 城 豊

産 業 振 興 課 長 大 嶺 実

建 設 環 境 課 長 花 田 義 徳

会 計 課 長 知 念 和 史

5. 職務のため議場に出席した事務局員の職・氏名は次のとおりである。

事 務 局 長 新 城 寛 主 任 宮 城 宏 幸

6. 議事日程（第3号）

日程番号	事件番号	件 名	摘 要
1	同 意 第 3 号	副村長の選任について	質 疑 付 託 省 略
2	議 案 第 5 2 号	沖縄県北部医療組合の設立について	質 疑 委員会付託
3	議 案 第 5 3 号	土地改良事業の施行について	質 疑 委員会付託
4	議 案 第 5 4 号	令和4年度大宜味村一般会計補正予算（第10号）	質 疑 委員会付託
5	議 案 第 5 5 号	令和4年度大宜味村国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	質 疑 委員会付託
6	議 案 第 5 6 号	令和4年度大宜味村簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）	質 疑 委員会付託
7	議 案 第 5 7 号	令和4年度大宜味村公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	質 疑 委員会付託
8	議 案 第 5 8 号	令和4年度大宜味村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	質 疑 委員会付託

◎開議の宣告

- 議長（大城佐一） おはようございます。

会議を始める前に、本日より宮城美和子議員が出席しております。

これから本日の会議を開きます。

（午前 10 時 00 分）

◎同意第 3 号の質疑、委員会付託の省略、討論、採決

- 議長（大城佐一） 日程第 1 同意第 3 号 副村長の選任についてを議題とします。

これから質疑を行います。質疑ありませんか。

（発言する者なし）

- 議長（大城佐一） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

同意第 3 号 副村長の選任については、会議規則第 39 条第 3 項の規定によって委員会の付託を省略することについて採決します。

本件は、委員会の付託を省略することに賛成の方は起立をお願いします。

（起立全員）

- 議長（大城佐一） 起立全員です。

したがって同意第 3 号 副村長の選任については、委員会の付託を省略することは可決されました。委員会の付託を省略します。

これから討論を行います。討論ありませんか。

まず、原案に反対者の発言を許します。

（発言する者なし）

- 議長（大城佐一） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから同意第 3 号 副村長の選任についてを採決します。

念のため申し上げます。採決は起立により行いますが、起立しない方は反対とみなします。

本件は、同意することに賛成の方は起立をお願いします。

（起立少数）

- 議長（大城佐一） 起立少数です。

したがって同意第 3 号は、同意しないことに決定しました。

◎議案第 52 号の質疑、委員会付託

- 議長（大城佐一） 日程第 2 議案第 52 号 沖縄県北部医療組合の設立についてを議題とします。

これから質疑を行います。質疑ありませんか。

（発言する者なし）

- 議長（大城佐一） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

ただいま議題となっています議案第 52 号 沖縄県北部医療組合の設立については、総務常任委員会に付託します。

◎議案第53号の質疑、委員会付託

- 議長（大城佐一） 日程第3 議案第53号 土地改良事業の施行についてを議題とします。
これから質疑を行います。質疑ありませんか。

（発言する者なし）

- 議長（大城佐一） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

ただいま議題となっています議案第53号 土地改良事業の施行については、経済建設常任委員会に付託します。

◎議案第54号の質疑、予算審査特別委員会の設置、委員会付託

- 議長（大城佐一） 日程第4 議案第54号 令和4年度大宜味村一般会計補正予算（第10号）を議題とします。

これから質疑を行います。質疑ありませんか。

（発言する者なし）

- 議長（大城佐一） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

本案については、9人の委員で構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することにしたと思います。

御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

- 議長（大城佐一） 異議なしと認めます。

したがって議案第54号については、9人の委員で構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することに決定しました。

◎議案第55号の質疑、予算審査特別委員会の設置、委員会付託

- 議長（大城佐一） 日程第5 議案第55号 令和4年度大宜味村国民健康保険特別会計補正予算（第3号）を議題とします。

これから質疑を行います。質疑ありませんか。

（発言する者なし）

- 議長（大城佐一） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

本案については、9人の委員で構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することにしたと思います。

御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

- 議長（大城佐一） 異議なしと認めます。

したがって議案第55号については、9人の委員で構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することに決定しました。

◎議案第56号の質疑、予算審査特別委員会の設置、委員会付託

- 議長（大城佐一） 日程第6 議案第56号 令和4年度大宜味村簡易水道事業特別会計補正予算

(第4号)を議題とします。

これから質疑を行います。質疑ありませんか。

(発言する者なし)

○ 議長(大城佐一) 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

本案については、9人の委員で構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査すること
にしたいと思います。

御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○ 議長(大城佐一) 異議なしと認めます。

したがって議案第56号については、9人の委員で構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託
して審査することに決定しました。

◎議案第57号の質疑、予算審査特別委員会の設置、委員会付託

○ 議長(大城佐一) 日程第7 議案第57号 令和4年度大宜味村公共下水道事業特別会計補正予算
(第3号)を議題とします。

これから質疑を行います。質疑ありませんか。

(発言する者なし)

○ 議長(大城佐一) 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

本案については、9人の委員で構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査すること
にしたいと思います。

御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○ 議長(大城佐一) 異議なしと認めます。

したがって議案第57号については、9人の委員で構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託
して審査することに決定しました。

◎議案第58号の質疑、予算審査特別委員会の設置、委員会付託

○ 議長(大城佐一) 日程第8 議案第58号 令和4年度大宜味村後期高齢者医療特別会計補正予算
(第2号)を議題とします。

これから質疑を行います。質疑ありませんか。

(発言する者なし)

○ 議長(大城佐一) 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

本案については、9人の委員で構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査すること
にしたいと思います。

御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○ 議長(大城佐一) 異議なしと認めます。

したがって議案第58号については、9人の委員で構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託

して審査することに決定しました。

○ 議長（大城佐一） お諮りします。先ほど設置されました予算審査特別委員会の委員の選任については、委員会条例第7条第3項の規定によって、お手元にお配りしました名簿のとおり指名したいと思います。

御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○ 議長（大城佐一） 異議なしと認めます。

したがって予算審査特別委員会の委員は、お手元にお配りしました名簿のとおり選任することに決定しました。

○ 議長（大城佐一） 予算審査特別委員会の正副委員長を選任のため休憩します。

（午前10時10分）

○ 議長（大城佐一） 休憩前に引き続き会議を開きます。

（午前10時13分）

◎諸般の報告

○ 議長（大城佐一） これから諸般の報告を行います。

休憩中に予算審査特別委員会において、委員長及び副委員長の互選が行われ、その結果の報告が議長の手元にまいりましたので報告します。

予算審査特別委員会委員長に大城邦彦議員、副委員長に大山美佐子議員、以上のとおり互選された旨の報告がありました。

これで諸般の報告を終わります。

◎散会の宣告

○ 議長（大城佐一） 以上で本日の日程は、全部終了しました。

本日は、これで散会します。

お疲れさまでした。

（午前10時13分）

令和4年第10回大宜味村議会定例会会議録

(第4号) 令和4年12月15日

1. 開議、閉会の日時

開 議 (令和4年12月15日 午前10時00分)

閉 会 (令和4年12月15日 午前10時43分)

2. 出席議員 (10名)

1 番議員 宮 城 貢

6 番議員 前 田 孝

2 番議員 宮 城 良 治

7 番議員 新 崎 悟 一

3 番議員 大 城 邦 彦

8 番議員 吉 浜 寛

4 番議員 大 山 美佐子

9 番議員 平 良 嗣 男

5 番議員 宮 城 美和子

10 番議員 大 城 佐 一

3. 欠席議員 (0 名)

な し

4. 地方自治法第121条の規定により説明のため議場に出席した者の職・氏名は次のとおりである。

な し

5. 職務のため議場に出席した事務局員の職・氏名は次のとおりである。

事 務 局 長 新 城 寛 主 任 宮 城 宏 幸

6. 議事日程（第4号）

日程番号	事件番号	件 名	摘 要
1	議 案 第 5 2 号	沖縄県北部医療組合の設立について	委員長報告 質疑～表決
2	議 案 第 5 3 号	土地改良事業の施行について	委員長報告 質疑～表決
3	議 案 第 5 4 号	令和4年度大宜味村一般会計補正予算（第10号）	委員長報告 質疑～表決
4	議 案 第 5 5 号	令和4年度大宜味村国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	委員長報告 質疑～表決
5	議 案 第 5 6 号	令和4年度大宜味村簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）	委員長報告 質疑～表決
6	議 案 第 5 7 号	令和4年度大宜味村公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	委員長報告 質疑～表決
7	議 案 第 5 8 号	令和4年度大宜味村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	委員長報告 質疑～表決
8	陳 情 第 1 7 号	インボイス制度（適格請求書等保存方式）の実施延期を求め る陳情書について	委員長報告 質疑～表決
9	陳 情 第 1 8 号	有機フッ素化合物（P F A S）汚染から県民の健康と生命を 守る陳情	委員長報告 質疑～表決
10	意 見 案 第 2 号	有機フッ素化合物（P F A S）汚染から県民の健康と生命を 守る意見書	提 案 説 明 付 託 省 略
11		議員派遣の件	

◎開議の宣告

- 議長（大城佐一） おはようございます。
これから本日の会議を開きます。

（午前10時00分）

◎議案第52号の上程、委員長報告、質疑、討論、採決

- 議長（大城佐一） 日程第1 議案第52号 沖縄県北部医療組合の設立についてを議題とします。
委員長の報告を求めます。総務常任委員会委員長。

大議第193号

令和4年12月15日

大宜味村議会議長 大城 佐一 殿

総務常任委員会

委員長 大城 邦彦

委員会審査報告書

本委員会に付託された事件は、審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第77条の規定により報告します。

記

事件の番号	件 名	審査の結果
議案第52号	沖縄県北部医療組合の設立について	可 決 全会一致

（大城邦彦総務常任委員会委員長 登壇）

- 総務常任委員会委員長（大城邦彦） ただいま議題となりました議案第52号について、総務常任委員会における審査の経過及び結果について報告いたします。

本委員会におきましては、説明員として、総務課長、住民福祉課長の出席を求め、12月13日午後1時30分からの審査を3時間5分繰り上げて午前10時25分から行いました。

議案第52号 沖縄県北部医療組合の設立について説明いたします。

本件の経緯と致しまして、平成29年3月に、北部12市町村の住民による「基幹病院の整備を求める総決起大会」が開催されており、専門医療、小児・周産期医療、救命救急医療等を提供できる基幹病院の整備が強く求められてきました。

これを受け、沖縄県、北部12市町村及び北部地区医師会では、県立北部病院と北部地区医師会病院を統合し、新たに公立沖縄北部医療センターを整備することについて、約2年半をかけて協議し、令和2年7月に合意、「北部基幹病院の基本的枠組みに関する合意書」の締結をしております。

その後、公立沖縄北部医療センター整備協議会を設置し、同整備協議会における検討を経て、令和3

年３月に基本構想、令和４年３月に整備基本計画を策定しております。

このような経緯のもと、設置主体として、沖縄県と北部12市町村で構成する一部事務組合「沖縄県北部医療組合」を設立するものとなり、設立にあたりその協議を行うためには、地方自治法第290条の規定により議会の議決を経なければならないため、今回の提案となっております。

沖縄県北部医療組合の規約の概要につきましては、第１章総則について第１条から第４条、第２章組合の議会について第５条から第７条、第３章組合の執行機関について第８条から第12条、第４章組合の経費について第13条、第５章雑則について第14条、最後に附則となっております。

沖縄県北部医療組合が共同処理する事務につきましては、第３条にありますとおり、北部医療センターの建設整備及び管理運営に関すること、附属診療所の建設整備及び管理運営に関すること、北部医療センター及び附属診療所における医療従事者の確保に関することとしており、この規約は、令和５年４月１日から施行することとしております。

議案第52号についての質疑、討論はなく、全会一致をもって可決すべきものと決定しました。

よろしく御審議のほどお願いします。

○ 議長（大城佐一） 以上で委員長の報告を終わります。

これから議案第52号について委員長の報告に対する質疑を行います。質疑ありませんか。

（発言する者なし）

○ 議長（大城佐一） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから議案第52号について討論を行います。討論ありませんか。

まず、原案に反対者の発言を許します。

（発言する者なし）

○ 議長（大城佐一） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから議案第52号 沖縄県北部医療組合の設立についてを採決します。

本件に対する委員長の報告は可決です。本件は、委員長の報告のとおり決定することに賛成の方は起立をお願いします。

（起立全員）

○ 議長（大城佐一） 起立全員です。

したがって議案第52号は、委員長の報告のとおり可決されました。

◎議案第５３号の上程、委員長報告、質疑、討論、採決

○ 議長（大城佐一） 日程第２ 議案第53号 土地改良事業の施行についてを議題とします。

委員長の報告を求めます。経済建設常任委員会委員長。

大 議 第 1 9 5 号

令和４年12月15日

大宜味村議会議長 大城 佐一 殿

経済建設常任委員会

委員長 宮 城 良 治

委員会審査報告書

本委員会に付託された事件は、審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第77条の規定により報告します。

記

事件の番号	件 名	審査の結果
議案第53号	土地改良事業の施行について	可 決 全会一致

(宮城良治経済建設常任委員会委員長 登壇)

○ 経済建設常任委員会委員長（宮城良治） 経済建設常任委員会委員長報告。ただいま議題となりました議案第53号 土地改良事業の施行について、経済建設常任委員会における審査の経過と結果について報告いたします。

本委員会におきましては、説明員として総務課長及び産業振興課長兼農業委員会事務局長の出席を求め、12月14日午前10時から審査を行いました。

本件は、沖縄振興公共投資交付金（農業基盤整備促進事業）による大工又地区土地改良地域の畑地かんがい施設整備事業であります。

土地改良法第96条の2第2項の規定により議会の議決を求めるものであります。

事業内容、事業主体：大宜味村、受益面積：5.1ha、受益戸数：6戸、主要工事：畑地かんがい施設一式、予算額：245,000,000円、事業工期 令和5年度～令和8年度

なお、本件についての質疑、討論はなく、全会一致をもって可決すべきものと決定しました。

よろしくご審議のほどお願い申し上げまして報告といたします。

○ 議長（大城佐一） 以上で委員長の報告を終わります。

これから議案第53号について委員長の報告に対する質疑を行います。質疑ありませんか。

○ 議長（大城佐一） 8番 吉浜 覚議員。

○ 8番（吉浜 覚） 質疑したいと思います。

この事業は、受益戸数6戸となっております。過去に大工又地区の県一般農道整備事業、それから団体営農地開発利用促進事業が同じく大工又で展開されております。今回この議案が出てくるときに、その全体を網羅した施設かなと期待を込めておりましたけれども、実際は6戸だということになっております。将来を考えたときには、先ほど言った事業の地域を将来展望すべきだと思っておりますが、その辺は審議されたのかお聞きしたいと思います。よろしくお願いします。

(「議長、ちょっと休憩お願いします」と呼ぶ者あり)

○ 議長（大城佐一） 休憩します。

(午前10時11分)

○ 議長（大城佐一） 再開します。

(午前10時13分)

-
- 議長（大城佐一） 経済建設常任委員会委員長。
- 経済建設常任委員会委員長（宮城良治） 委員会の中で確認したところ、今後増える可能性があるのであれば、そこはまた話し合いをやっていくんだらうという話でした。昨日委員会が終わって、その後に何名かの農家の方に、この6戸の確認はしたんですけれども、左側の、今入っていない農家に一応確認したみたいなんですけれども、今のところは要らないということでした。以上です。
- 議長（大城佐一） 8番 吉浜 覚議員。
- 8番（吉浜 覚） 現在の時点については理解しております。しかし、これだけ村有地を払い下げてこれまでの事業をしておりますので、全地域が、この畑かん事業がきちんとできるように、行き届くように、将来を見越したような事業が展開できるように進めていただきたいと希望して、これで質疑を終わります。
- 議長（大城佐一） ほかに質疑ありませんか。
(発言する者なし)
- 議長（大城佐一） これで質疑を終わります。
これから議案第53号について討論を行います。討論ありませんか。
まず、原案に反対者の発言を許します。
(発言する者なし)
- 議長（大城佐一） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。
これから議案第53号 土地改良事業の施行についてを採決します。
本件に対する委員長の報告は可決です。本件は、委員長の報告のとおり決定することに賛成の方は起立をお願いします。
(起立全員)
- 議長（大城佐一） 起立全員です。
したがって議案第53号は、委員長の報告のとおり可決されました。
-

◎議案第54号～議案第58号の一括上程、委員長報告、質疑、討論、採決

- 議長（大城佐一） 日程第3 議案第54号 令和4年度大宜味村一般会計補正予算（第10号）、日程第4 議案第55号 令和4年度大宜味村国民健康保険特別会計補正予算（第3号）、日程第5 議案第56号 令和4年度大宜味村簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）、日程第6 議案第57号 令和4年度大宜味村公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）及び日程第7 議案第58号 令和4年度大宜味村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）の5件について、一括して議題とします。
一括して委員長の報告を求めます。予算審査特別委員会委員長。

大 議 第 1 9 6 号
令和4年12月15日

大宜味村議会議長 大城 佐一 殿

予算審査特別委員会
委員長 大 城 邦 彦

委員会審査報告書

本委員会に付託された事件は、審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第77条の規定により報告します。

記

事件の番号	件 名	審査の結果
議案第54号	令和4年度大宜味村一般会計補正予算（第10号）	原案可決 全会一致
議案第55号	令和4年度大宜味村国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決 全会一致
議案第56号	令和4年度大宜味村簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）	原案可決 全会一致
議案第57号	令和4年度大宜味村公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決 全会一致
議案第58号	令和4年度大宜味村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決 全会一致

（大城邦彦予算審査特別委員会委員長 登壇）

○ 予算審査特別委員会委員長（大城邦彦） ただいま議題となりました議案第54号から議案第58号の5件について、予算審査特別委員会における審査の経過及び結果について一括して報告いたします。

本委員会におきましては、説明員として関係課長等の出席を求め、12月14日午後1時30分からの審査を3時間繰上げて午前10時30分から行いました。

議案第54号 令和4年度大宜味村一般会計補正予算（第10号）の主な内容は、歳入で、国庫支出金の減額、主に「デジタル基盤改革支援補助金」の減によるもの、県支出金の減額、主に「沖縄振興特別推進交付金」の減によるもの、繰入金の増額で、主に「結い基金取り崩し金」によるもの、村債の減額で、主に「河川整備事業」の減によるものです。

次に歳出です、衛生費の増額、主に「簡易水道事業特別会計繰出金」及び「名護市し尿受入処理施設建設負担金」の増によるもの、商工費の増額、主に「むらづくり応援寄附業務委託料」の増によるもの、土木費の減額、主に「ふるさと河川環境再生・活用整備事業」の減によるものです。歳入歳出それぞれ、1,158千円の追加で総額5,770,610千円となっております。

議案第55号 令和4年度大宜味村国民健康保険特別会計補正予算（第3号）の主な内容としては、歳入で県支出金の増額によるものです。

歳出で保険給付費の増額、諸支出金の増額、予備費の減額によるものです。

歳入歳出それぞれ、47,318千円の追加で総額618,740千円となっております。

議案第56号 令和4年度大宜味村簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）の主な内容は、歳入で繰入金の増額、村債の減額によるものです。

歳出で簡易水道総務費の減額については、電気料金の高騰による光熱水費や修繕費などの増額もあり

ますが、単独事業工事請負費の減額に伴う減額によるものです。

歳入歳出それぞれ、4,545千円を減額し総額158,765千円となっております。

議案第57号 令和4年度大宜味村公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）の主な内容は、歳出で公共下水道事業総務費の増額、主に電気料金の高騰によるものです。公債費の増額、新規借り入れした公営企業適用債の利息、予備費の減額となり、歳出のみの補正となり、総額は、補正前と同額予算となっております。

議案第58号 令和4年度大宜味村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）主な内容は、国、県の保険基板安定繰入金の額が確定したことにより、歳入で繰入金の減、歳出で、後期高齢者医療広域連合納付金の減によるものです。

歳入歳出それぞれ、233千円を減額し総額40,239千円となっております。

議案第54号については、質疑で教育費、認定こども園費中、会計年度任用職員報酬減に伴い正規職員との待遇の差があり雇用できないと思うので正規職員の採用を求める意見が出されました。

担当課長より職員定数の観点から即答はできないが、今後検討していくとの回答がありました。討論はなく、本案については全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決定しました。

次に議案第55号から議案第58号の4件について、いずれも質疑、討論はなく、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決定しました。

以上、委員会のいける審査の結果を申し上げ、報告いたします。

ご審議のほどをお願いいたします。

○ 議長（大城佐一） 以上で委員長の報告を終わります。

これから議案第54号について委員長の報告に対する質疑を行います。質疑ありませんか。

（発言する者なし）

○ 議長（大城佐一） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから議案第54号について討論を行います。討論ありませんか。

まず、原案に反対者の発言を許します。

（発言する者なし）

○ 議長（大城佐一） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから議案第54号 令和4年度大宜味村一般会計補正予算（第10号）を採決します。

本案に対する委員長の報告は可決です。本案は、委員長の報告のとおり決定することに賛成の方は起立をお願いします。

（起立全員）

○ 議長（大城佐一） 起立全員です。

したがって議案第54号は、委員長の報告のとおり可決されました。

これから議案第55号について委員長の報告に対する質疑を行います。質疑ありませんか。

（発言する者なし）

○ 議長（大城佐一） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから議案第55号について討論を行います。討論ありませんか。

まず、原案に反対者の発言を許します。

（発言する者なし）

○ 議長（大城佐一） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから議案第55号 令和4年度大宜味村国民健康保険特別会計補正予算（第3号）を採決します。

本案に対する委員長の報告は可決です。本案は、委員長の報告のとおり決定することに賛成の方は起立をお願いします。

（起立全員）

○ 議長（大城佐一） 起立全員です。

したがって議案第55号は、委員長の報告のとおり可決されました。

これから議案第56号について委員長の報告に対する質疑を行います。質疑ありませんか。

（発言する者なし）

○ 議長（大城佐一） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから議案第56号について討論を行います。討論ありませんか。

まず、原案に反対者の発言を許します。

（発言する者なし）

○ 議長（大城佐一） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから議案第56号 令和4年度大宜味村簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）を採決します。

本案に対する委員長の報告は可決です。本案は、委員長の報告のとおり決定することに賛成の方は起立をお願いします。

（起立全員）

○ 議長（大城佐一） 起立全員です。

したがって議案第56号は、委員長の報告のとおり可決されました。

これから議案第57号について委員長の報告に対する質疑を行います。質疑ありませんか。

（発言する者なし）

○ 議長（大城佐一） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから議案第57号について討論を行います。討論ありませんか。

まず、原案に反対者の発言を許します。

（発言する者なし）

○ 議長（大城佐一） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから議案第57号 令和4年度大宜味村公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）を採決します。

本案に対する委員長の報告は可決です。本案は、委員長の報告のとおり決定することに賛成の方は起立をお願いします。

（起立全員）

○ 議長（大城佐一） 起立全員です。

したがって議案第57号は、委員長の報告のとおり可決されました。

休憩します。

（午前10時27分）

○ 議長（大城佐一） 再開します。

（午前10時28分）

○ 議長（大城佐一） これから議案第58号について委員長の報告に対する質疑を行います。質疑ありませんか。

（発言する者なし）

○ 議長（大城佐一） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから議案第58号について討論を行います。討論ありませんか。

まず、原案に反対者の発言を許します。

（発言する者なし）

○ 議長（大城佐一） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから議案第58号 令和4年度大宜味村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）を採決します。
本案に対する委員長の報告は可決です。本案は、委員長の報告のとおり決定することに賛成の方は起立をお願いします。

（起立全員）

○ 議長（大城佐一） 起立全員です。

したがって議案第58号は、委員長の報告のとおり可決されました。

◎陳情第17号及び陳情第18号の一括上程、委員長報告、質疑、討論、採決

○ 議長（大城佐一） 日程第8 陳情第17号 インボイス制度（適格請求書等保存方式）の実施延期を求める陳情書について及び日程第9 陳情第18号 有機フッ素化合物（PFAS）汚染から県民の健康と生命を守る陳情の2件を一括議題とします。

一括して委員長の報告を求めます。総務常任委員会委員長。

大 議 第 1 9 4 号

令和4年12月15日

大宜味村議会議長 大城 佐一 殿

総務常任委員会

委員長 大 城 邦 彦

陳 情 審 査 報 告 書

本委員会に付託された陳情を審査した結果、次のとおり決定したので、会議規則第94条第1項の規定により報告します。

受理 番号	受 理 年月日	件 名	審査の 結 果	委員会の意見	措 置
17	令和4年 11月24日	インボイス制度（適格請求書等保存方式）の実施延期を求める陳情書について	採択すべき	意見書等の送付は行わない	採択のみ

受理 番号	受 理 年月日	件 名	審査の 結 果	委員会の意見	措 置
18	令和4年 12月1日	有機フッ素化合物（P F A S）汚染から県民の健康と生命を守る陳情	採択すべき	意見書の 送付が妥当	地方自治法 第99条の措置

（大城邦彦総務常任委員会委員長 登壇）

○ 総務常任委員会委員長（大城邦彦） ただいま議題となりました陳情第17号・18号について、一括して報告いたします。

12月13日午後1時30分からの審査を3時間5分くりあげて行った結果、お手元に配布しております。

次に陳情第17号、インボイス制度（適格請求書等保存方式）の実施延期を求める陳情書については質疑・討論はなく、採択すべきものと決定いたしました。意見書の提出までは至らなかったことを報告します。

次に陳情第18号、有機フッ素化合物（P F A S）汚染から県民の健康と生命を守る陳情、質疑・討論はなく、全会一致をもって採択すべきものと決定し、関係機関へ要請するため地方自治法第99条の規定により意見書の提出が妥当との意見の一致を見ております。

ご審議のほどお願い申し上げまして報告といたします。

○ 議長（大城佐一） 以上で委員長の報告を終わります。

これから陳情第17号 インボイス制度（適格請求書等保存方式）の実施延期を求める陳情書についての委員長の報告に対する質疑を行います。質疑ありませんか。

（発言する者なし）

○ 議長（大城佐一） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから陳情第17号について討論を行います。討論ありませんか。

まず、原案に反対者の発言を許します。

（発言する者なし）

○ 議長（大城佐一） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから陳情第17号 インボイス制度（適格請求書等保存方式）の実施延期を求める陳情書についてを採決します。

本陳情に対する委員長の報告は採択です。本陳情は、採択することに賛成の方は起立を願います。

（起立全員）

○ 議長（大城佐一） 起立全員です。

したがって陳情第17号は、採択することに決定しました。

これから陳情第18号 有機フッ素化合物（P F A S）汚染から県民の健康と生命を守る陳情の委員長の報告に対する質疑を行います。質疑ありませんか。

（発言する者なし）

○ 議長（大城佐一） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから陳情第18号について討論を行います。討論ありませんか。

まず、原案に反対者の発言を許します。

(発言する者なし)

○ 議長(大城佐一) 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから陳情第18号 有機フッ素化合物(PFAS)汚染から県民の健康と生命を守る陳情を採決します。

本陳情に対する委員長の報告は採択です。本陳情は、採択することに賛成の方は起立を願います。

(起立全員)

○ 議長(大城佐一) 起立全員です。

したがって陳情第18号は、採択することに決定しました。

◎意見案第2号の上程、説明、質疑、委員会付託の省略、討論、採決

○ 議長(大城佐一) 日程第10 全員発議により提出されました意見案第2号 有機フッ素化合物(PFAS)汚染から県民の健康と生命を守る意見書を議題とします。

提案者から提案理由の説明を求めます。8番 吉浜 覚議員。

(8番 吉浜 覚議員 登壇)

○ 8番(吉浜 覚) 意見案第2号 有機フッ素化合物(PFAS)汚染から県民の健康と生命を守る意見書

上記の意見案を別紙のとおり、会議規則第14条第1項の規定により提出します。

令和4年12月15日

大宜味村議会議長 大城 佐一 殿

提出者 吉浜 覚 大山美佐子 大城邦彦 宮城 貢 宮城良治 宮城美和子 前田 孝 新崎悟一
賛成者 平良嗣男

提案理由 令和4年の6月から7月にかけて、PFAS市民連絡会が村内で行った調査において、PFAS血中濃度が全国調査との比較にて、高い数値の出た村民が確認されたことにより、県及び国の責任において、大宜味村を含めた広域疫学調査および環境調査を実施する必要があると考えるため、その意見書の提出を行う。

有機フッ素化合物(PFAS)汚染から県民の健康と生命を守る意見書

2016年1月沖縄県企業局は、7市町村45万人に供給している北谷浄水場の水源である河川や井戸群等から高濃度の有機フッ素化合物PFASが検出されたと発表した。

あれから6年が経過、命の源である飲み水の汚染、土壌汚染等に県民の健康不安は増大するばかりである。

PFAS市民連絡会は、今年、6月から7月にかけて、独自で沖縄県6市町村のPFASによるヒトの体内汚染、環境汚染に関する全国でも初めての大規模調査を実施。研究責任者、京都大学環境衛生学、原田浩二准教授は記者会見で別紙の通り公表。結果、沖縄県のPFAS血中濃度は、全国調査(環境省2021年)との比較において、PFOSは最大3.1倍、PFOAは3.0倍、PFHxSは14.3倍と、放置できない高い数値となっている。さらに、血液検査をした387人のうち27人が、要措置濃度を上回っていることが判明。また、水道水をそのまま飲用するグループと、浄水器設置や水を購入するグループを比較した場合、浄水器や水購入の方の血中濃度は低い。しかし、浄水器設置は家計への負担が大きく、また、浄水器では環境負荷を防げない事も判明。PFAS汚染は世界的な環境・健康の危機であり、生存

権の問題である。国際的にP F A S規制が厳格化される動向と、今回の検査結果をエビデンスに、県民の命と暮らしを守る立場から、本議会は、国の責任において広域疫学調査、環境調査に継続的に取り組むことを下記の通り強く要請する。

記

- 1、米国環境保護局（E P A）等の指針を参考にして、P F A S規制を立法化すること
 - 2、国民の健康と生命を守るために、国の責任で疫学調査、環境調査を実施すること
- 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

2022年12月15日

沖縄県国頭郡大宜味村議会

あて先、内閣総理大臣、厚生労働大臣、環境大臣
以上です。

○ 議長（大城佐一） これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。質疑ありませんか。

（発言する者なし）

○ 議長（大城佐一） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

意見案第2号は、会議規則第39条第3項の規定によって委員会の付託を省略することについて採決します。

本案は、委員会の付託を省略することに賛成の方は起立をお願いします。

（起立全員）

○ 議長（大城佐一） 起立全員です。

したがって意見案第2号は、委員会の付託を省略することは可決されました。委員会の付託を省略します。

これから意見案第2号について討論を行います。討論ありませんか。

まず、原案に反対者の発言を許します。

（発言する者なし）

○ 議長（大城佐一） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから意見案第2号 有機フッ素化合物（P F A S）汚染から県民の健康と生命を守る意見書を採決します。

原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○ 議長（大城佐一） 異議なしと認めます。

したがって意見案第2号は、原案のとおり可決されました。

◎議員派遣の件

○ 議長（大城佐一） 日程第11 議員派遣の件について議題とします。

お諮りします。議員派遣の件については、お手元に配りましたとおり派遣することにしたいと思います。

御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○ 議長(大城佐一) 異議なしと認めます。

したがって議員派遣の件については、お手元に配りましたとおり派遣することに決定しました。

議員派遣の件

令和4年12月15日

本議会は、地方自治法第100条第13項及び会議規則第129条の規定により、次のとおり議員を派遣するものとする。

記

開催時期	研修名	派遣人員
令和5年1月	北部三村議会連絡協議会研修会(大宜味村)	全議員

派遣目的: 町村議会議員の資質向上に資するため。

○ 議長(大城佐一) お諮りします。会議規則第45条の規定により、本議会に付議された事件の議決の結果生じた条項、字句、数字、その他の整理を要するものについては、その整理を議長に委任されたいと思います。

御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○ 議長(大城佐一) 異議なしと認めます。

したがって条項、字句、数字、その他の整理は、議長に委任することに決定しました。

◎閉会の宣告

○ 議長(大城佐一) これで本日の日程は、全部終了しました。

会議を閉じます。

令和4年第10回大宜味村議会定例会を閉会します。

お疲れさまでした。

(午前10時43分)

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

議会議長

署名議員

署名議員